

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 香川県社会福祉協議会

目 次

○ 全体概況	1
○ 事業推進項目の実施概況	2
○ 事業実施状況	12
1 包括的支援体制の構築に向けた取組	
1-1 権利擁護を基盤とした包括的な相談支援	12
1-2 多様な支援・活動のためのネットワークづくりと地域づくり、参加者支援の取組	25
1-3 市町社協との連携・協働による地域福祉の推進	56
2 災害福祉支援ネットワークの構築	60
3 福祉人材確保・育成・定着	
3-1 福祉人材センター事業の充実・強化	68
3-2 福祉・介護マンパワーの確保	72
3-3 資格取得支援等事業の推進	80
4 社会福祉法人・施設等への支援と福祉サービスの質の向上	
4-1 社会福祉法人・施設等への支援	83
4-2 福祉サービス運営適正化事業の推進	87
5 法人組織体制の強化と人材育成	
5-1 法人経営と事務局運営体制の強化	90
5-2 職員の人材育成と組織体制の強化	92
5-3 広報機能の充実・強化	94
全国・四国ブロック会議・研修等の開催・参加	97

令和4年度 香川県社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人 香川県社会福祉協議会

○ 全体概況

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化した影響により、経済状況や雇用情勢が悪化し、経済的な困窮や社会的孤立の深刻化などによる様々な不安や生きづらさを抱えた人が顕在化している中、国においては、地域福祉の基盤強化や包括的支援体制の整備など、地域共生社会の実現に向けた取組を推進している。

このような中、香川県社会福祉協議会(以下「県社協」という。)では、令和4年度事業計画において、「包括的支援体制の構築に向けた取組」や「災害福祉支援ネットワークの構築」、「福祉人材確保・育成・定着」、「社会福祉法人・施設等への支援と福祉サービスの質の向上」など、5つの重点推進項目を設定し、社会福祉の新しい動きや取り組むべき課題を的確に把握しながら、香川県はじめ関係行政機関、市町社会福祉協議会(以下「市町社協」という。)、社会福祉施設及び団体、その他福祉関係分野などとの連携のもと、広く地域住民の理解と協力、参加を得て事業を実施してきた。

特に令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入減少があった世帯の自立に向けた生活を支援するための特例貸付の受付期間が、令和4年9月末まで延長され、これに対応するとともに、償還免除や猶予の手続きと償還業務にも取り組んだほか、「香川おもいやりネットワーク事業」や「重層的支援体制構築に向けた後方支援事業」等において、コロナ禍で顕在化している地域生活課題解決のための取組を進めた。

さらに、災害への対応として、災害発生時に一般避難所等で要配慮者への支援を行う香川県災害派遣福祉チーム(香川 DWAT)の活動訓練やリーダー研修を実施するなど、災害時に迅速に活動できるよう災害福祉支援の体制づくりに取り組んだ。

また、地域福祉を支える人材の育成、福祉・介護人材の確保・定着に向けた事業の実施や日常生活自立支援事業の実施とともに、成年後見制度の利用支援や関係機関等とのネットワークの構築にも継続的に取り組むなど、今日的な課題にも対応し事業を実施してきた。

さらには、県社協が置かれている現状や課題を分析し、今後の目指すべき姿や5年間の地域福祉推進のための具体的な活動・行動計画を示すため、「香川県社会福祉協議会第3次強化発展計画」の策定に取り組んだ。

会議や研修、行事等については、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、対策を行ったうえでの対面であったり、オンライン開催とするなどして実施してきた。

なお、令和4年度の主な事業推進項目の実施概況及び事業実施状況については、次のとおりである。

○ 事業推進項目の実施概況

1 包括的支援体制の構築に向けた取組

1-1 権利擁護を基盤とした包括的な相談支援

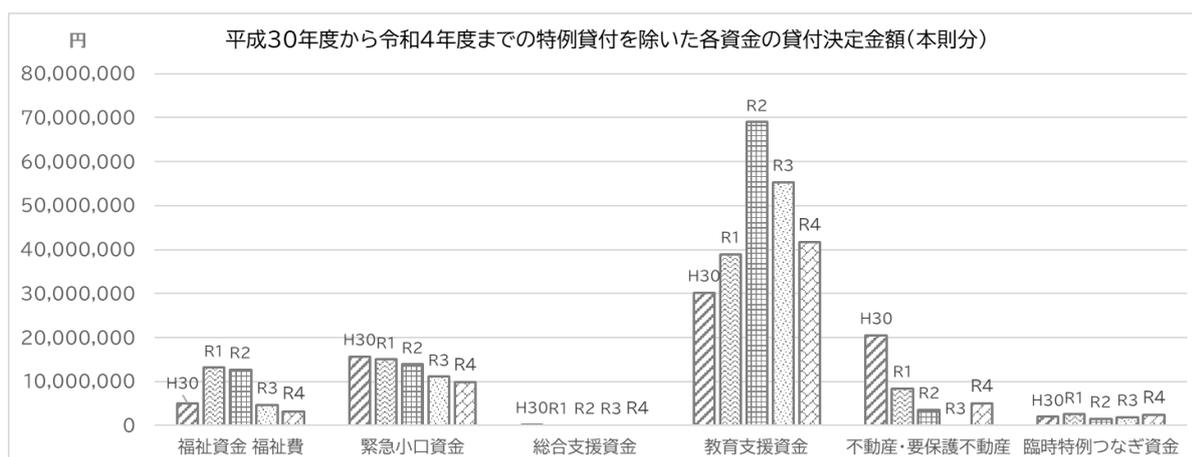
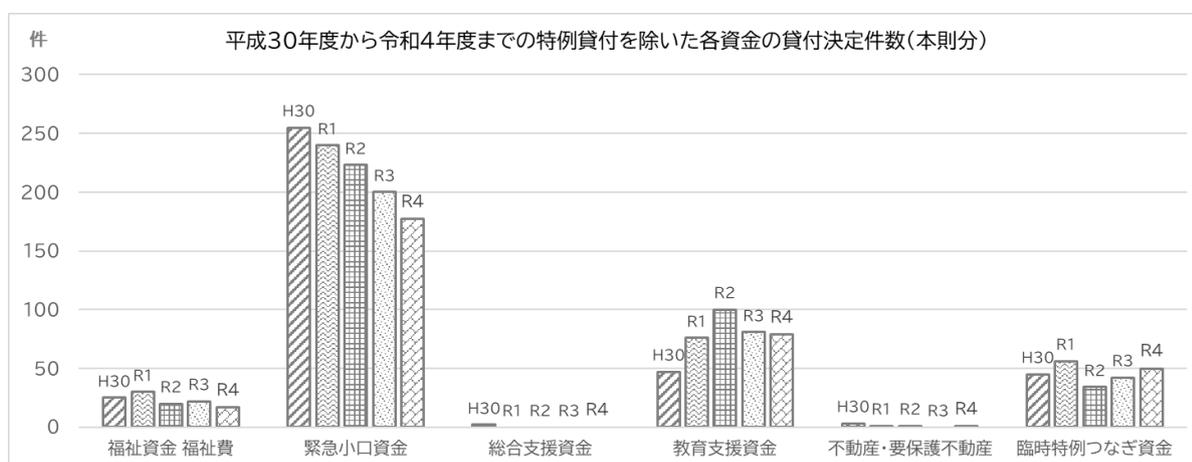
(1) 生活福祉資金貸付事業

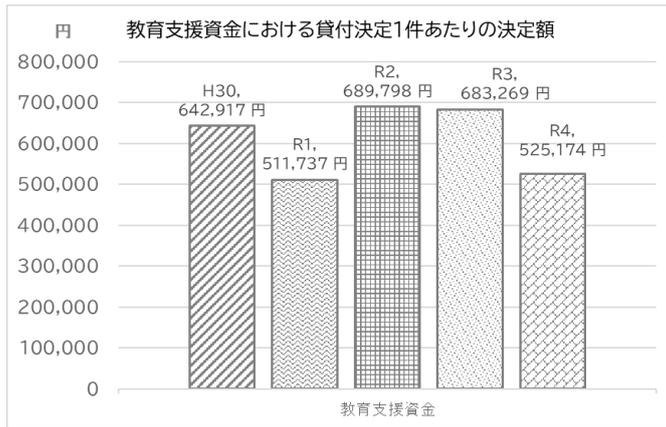
ア 本則貸付

特例貸付を除く令和4年度の通常貸付決定件数は324件で、前年度から21件減となっている。生活保護費支給開始までのつなぎ資金としての緊急小口資金の申請数の減少がある一方で、臨時特例つなぎ資金は2割程度増加しており、教育支援資金については、令和3年度から横ばいの申請数ではあるものの、1件あたりの申請額が減少傾向にある。

[令和4年度貸付決定(通常貸付分)]

資金の種類	件数	貸付決定額(円)
福祉資金	194	13,078,600
総合支援資金	0	0
教育支援資金	79	41,488,710
不動産担保型生活資金	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	4,956,000
臨時特例つなぎ資金	50	2,316,000





イ 特例貸付

令和4年度における特例貸付は下記のとおりである。

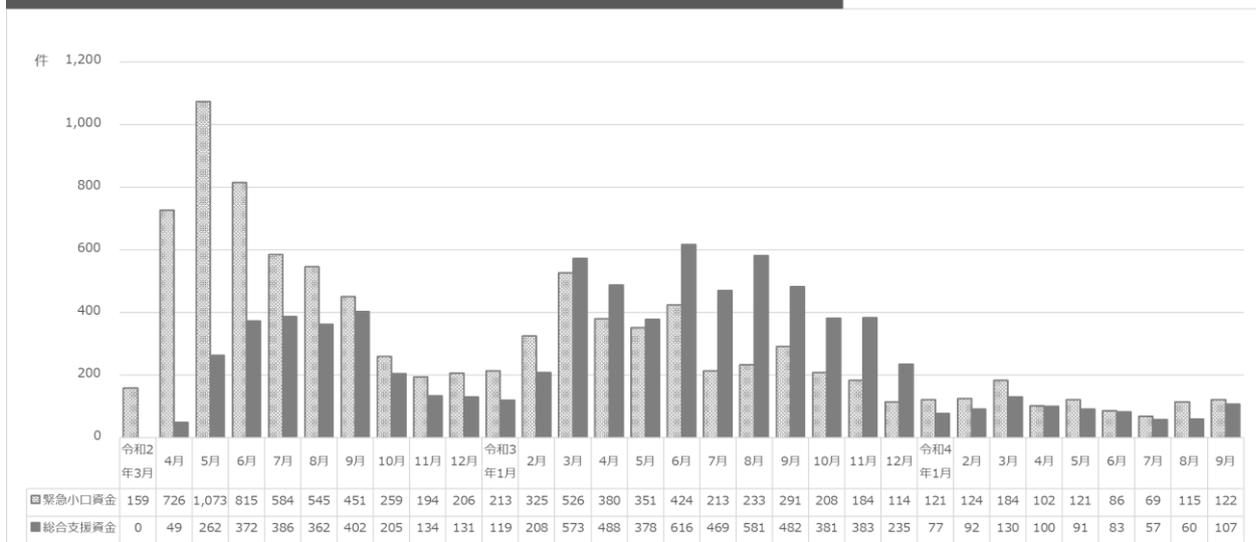
令和3年度に総合支援資金の延長貸付・再貸付の申請期間が終了しており、令和4年度は初回貸付申請のみとなり、9月末ですべての申請期間が終了となった。

緊急小口資金、総合支援資金の全体の件数における市町社協別の貸付比率は令和2～3年度とほぼ同様で、高松市が約半数を占めている。

[令和4年度貸付決定(特例貸付分)]

資金の種類	件数	貸付決定額(円)
緊急小口資金	615	119,970,000
総合支援資金	498	259,515,000

緊急小口資金・総合支援資金 月別決定件数(令和2年3月～4年9月)



令和2年3月25日から令和4年9月30日までに貸付決定して送金した金額の総合計は、17,521件、57億3,294万円となった。

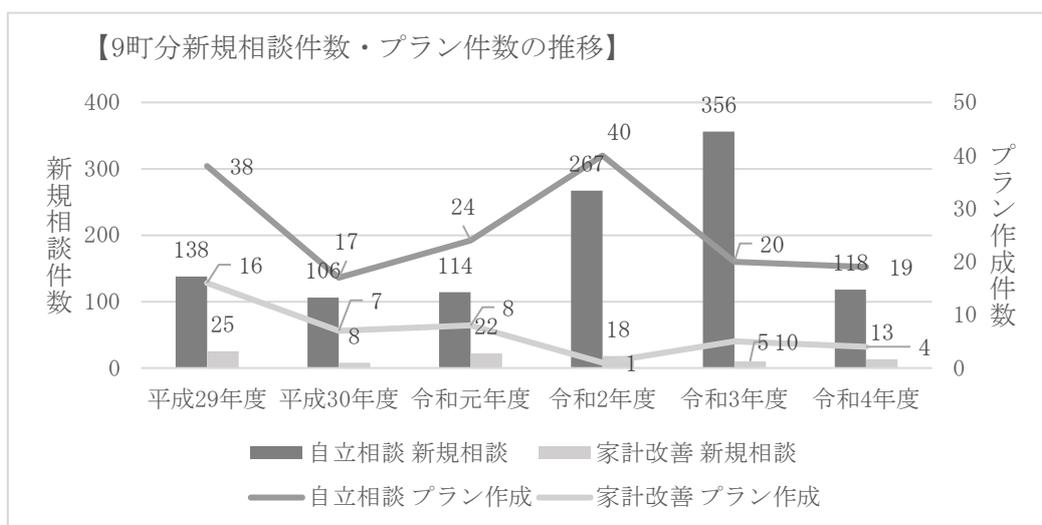
令和2年3月25日から令和4年9月30日までの市町社協別 特例貸付決定件数・送金実績

市町	緊急小口資金		総合支援資金（初回）		総合支援資金（延長）		総合支援資金（再貸付）		総合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
高松市	4,739	889,400,000	2,567	1,281,580,000	600	250,070,000	929	445,960,000	8,835	2,867,010,000
丸亀市	1,533	292,560,000	814	415,120,000	193	84,080,000	268	135,600,000	2,808	927,360,000
坂出市	375	70,520,000	179	90,010,000	23	10,050,000	61	31,320,000	638	201,900,000
普通寺市	372	70,600,000	218	109,880,000	49	21,120,000	80	40,160,000	719	241,760,000
観音寺市	484	92,650,000	235	120,575,000	44	19,670,000	76	39,110,000	839	272,005,000
さぬき市	298	55,850,000	164	84,830,000	31	13,910,000	61	31,470,000	554	186,060,000
東かがわ市	142	25,950,000	67	36,000,000	13	5,950,000	18	9,150,000	240	77,050,000
三豊市	349	66,520,000	187	98,450,000	34	17,000,000	56	30,000,000	626	211,970,000
土庄町	74	13,600,000	36	16,840,000	13	6,150,000	14	6,840,000	137	43,430,000
小豆島町	85	16,250,000	37	18,705,000	10	4,650,000	13	7,200,000	145	46,805,000
三木町	148	28,550,000	73	38,000,000	13	6,500,000	18	9,300,000	252	82,350,000
直島町	14	2,800,000	3	1,650,000	0	0	1	600,000	18	5,050,000
宇多津町	206	38,950,000	97	50,820,000	15	6,310,000	28	14,350,000	346	110,430,000
綾川町	122	23,400,000	80	41,540,000	19	9,810,000	23	12,300,000	244	87,050,000
琴平町	149	27,750,000	89	42,000,000	30	12,390,000	30	13,530,000	298	95,670,000
多度津町	295	57,650,000	170	84,200,000	33	14,120,000	81	40,230,000	579	196,200,000
まんのう町	133	25,750,000	72	37,090,000	11	4,560,000	27	13,440,000	243	80,840,000
合計	9,518	1,798,750,000	5,088	2,567,290,000	1,131	486,340,000	1,784	880,560,000	17,521	5,732,940,000

（金額は円）

（２）生活困窮者自立支援事業の実施では、各町社協に相談支援員を、県社協に主任相談支援員と家計改善支援員を配置し相談支援を実施した。新型コロナの特例貸付受付も終了し、行動制限も緩和される中、新規相談件数は減少した。

プラン作成件数には大きな変動はないが、コロナ特例貸付の償還が開始され、償還猶予の手続きに自立相談支援機関としての意見が求められたことから、今後も継続したかかわりが必要である。

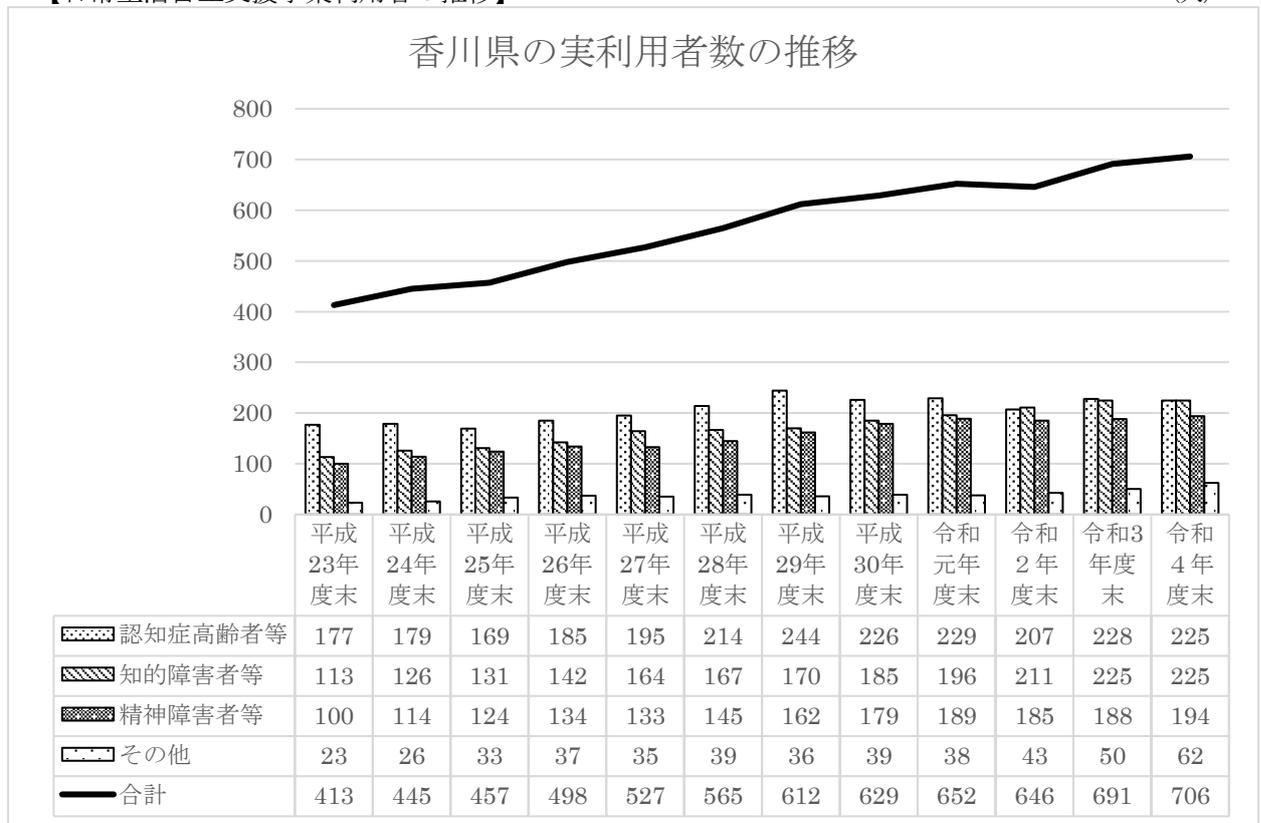


（３）日常生活自立支援事業においては、関係機関と連携しながら県内全市町社協で事業を実施することで、地域に密着したサービスの提供を行い、事業の安定的な実施に努めた。県内全ての市町において利用実績があり、令和4年度末利用者は

706人（令和3年度末691人、前年度比15人増、1.02倍）であり、本事業に関する相談・問い合わせ件数も約1,440件増加した。

【日常生活自立支援事業利用者の推移】

(人)



- (4) 権利擁護に関わる関係機関・団体と協働し、「かがわ後見ネットワーク」を運営し、成年後見制度に関する協議を行うとともに、専門職相談会の開催や人材養成研修会、講師派遣や出張相談、地域担当制の実施等にも取り組んだ。また、成年後見制度利用促進法への対応については、「かがわ後見ネットワーク」が県全体の中核機関（支える中核）を担っており、各市町や圏域での協議に積極的に参加し、令和4年度中に17市町全てに成年後見制度利用促進における中核機関が設置された。また、第2期基本計画の中でも重要な位置づけとなる「意思決定支援」に関する研修を県全体で実施するなど、権利擁護支援の充実に向けて取り組んだ。

1-2 多様な支援・活動のためのネットワークづくりと地域づくり、参加支援の取組み

- (1) 市町の包括的支援体制整備の支援を目的として、重層的支援体制整備事業都道府県による後方支援事業を令和3年度に引き続き県から受託した。県とともに17市町を個別訪問し、包括的支援体制整備に向けた現状や課題を聞き取るとともに、事業の概要やソーシャルワーク機能、先進地事例を学ぶ研修会等を実施した。また、既に事業に取り組んでいる、今後取組みを検討している市町同士の意見交換会を実施し、取組事例の共有や課題に対して、厚生労働省からの直接助言を受

けることができた。令和4年度では、2市が重層的支援体制整備事業(高松市、さぬき市)、3市町が重層的支援体制整備事業への移行準備事業(丸亀市、綾川町、琴平町)に取り組んでおり、令和5年度には1市が移行準備事業に取り組む予定である。

- (2) 地域における公益的な取組である「香川おもいやりネットワーク事業」は、地域の中で、社会福祉法人施設、社協、民生委員・児童委員がつながって、地域の課題を解決するために、総合相談・支援事業の実施、地域における居場所づくり、地域における権利擁護を推進するための取り組みを順次進めた。総合相談・支援事業から見えてきた課題への対応として、居場所づくり等の取組である「認定事業」については14事業を実施した。また、居住支援の一環としての入居債務保証支援モデル事業を実施した。さらには各市町において地域ネットワーク会議等を開催し、お互いの顔が見える関係の構築、地域の生活課題・福祉課題の共有、それらに対応する仕組みづくりに向けて協議を行った。その結果、各市町で事例検討や災害時の支援体制整備、地域の包括的支援体制整備の取組が進んでいる。

一方で、長引くコロナ禍において、職員や地域住民が集まって会議やイベント等を開催することが難しく、今後の取組をどう進めていくのかが課題である。

【相談・支援件数及び現物給付実績】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談・支援件数	189	213	232	222	211
現物給付件数	71	99	83	66	114
現物給付金額	3,377,526円	3,346,095円	3,489,312円	1,620,517円	2,496,082円

- (3) 香川県子どもの未来応援ネットワーク事業では、研修会の開催や交流会などを通じて、子どもの支援における地域のネットワークづくりに取り組んだ。また、子どもへの直接的な支援として、令和3年度に作成した子どもへの金銭教育ワークショップを、小中学校、市町社会福祉協議会のイベント及び子ども食堂等で実施した。
- (4) 民生委員・児童委員を対象とした県全体の研修会では、開催場所を複数設定し、少人数で集まることにより、コロナ禍においても中止することなく実施し、委員同士の情報交換のためのグループ討議の実施回数も増やすこともできた。また、令和4年12月の一斉改選後に新任委員を対象とした研修も2回集合形式で実施できた。
- (5) 市町社協常務理事・事務局長会議の開催のほか、「ニーズ対応型社協活動の推進とその組織体制の確立に向けた第2次アクションプラン(令和2年度～4年度)」における県全体の活動方針と18社協の強化発展計画に基づく地域福祉実践に取り組んだ。

また、地域福祉推進委員会、企画委員会においては、第3次アクションプラン策定に向けて、地域共生社会の実現に向けた社協の役割についての協議を深めた。

2 災害福祉支援ネットワークの構築

災害福祉支援ネットワークの構築

- (1) 県内の施設関係団体、職能団体等 21 の機関・団体で構成する「香川県災害福祉支援ネットワーク協議会」において、災害発生時に一般避難所等で要配慮者への支援を行う「香川県災害派遣福祉チーム」(香川 DWAT) の登録研修を行い、新たにチーム員(支援隊) 16 人の登録を行った。

香川県災害派遣福祉チーム〔香川 DWAT〕登録者数(令和 5 年 3 月末現在)

(人)

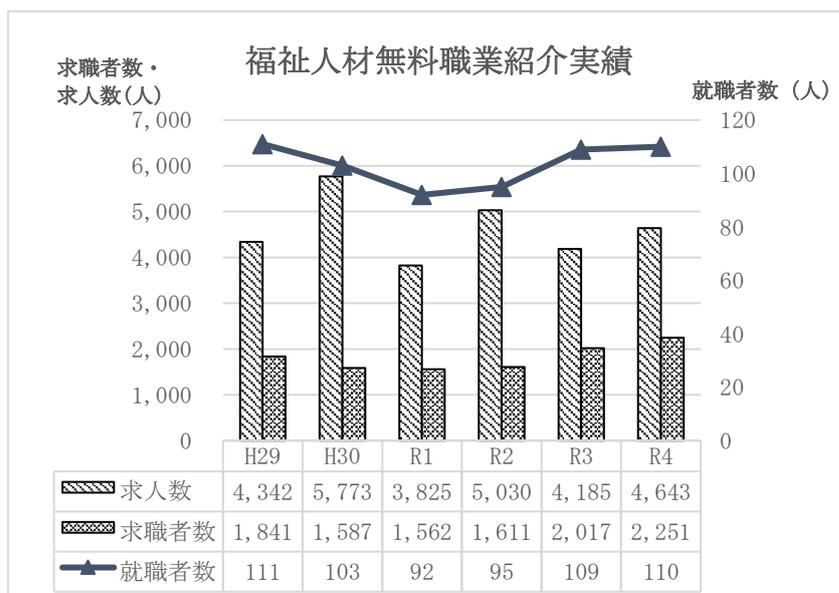
先遣隊	支援隊	合計
19	49	68

- (2) 香川県災害派遣福祉チーム(香川 DWAT) の組成や活動訓練を実施するとともに香川 DWAT のワーキンググループを設置し、チーム員が主体的に活動に取り組み、災害時に迅速に活動できるよう体制整備に取り組んだ。
- (3) 県内の社会福祉施設等の災害対応力の向上を図るため、災害福祉支援コーディネーターを配置するとともに、香川県社会福祉法人経営者協議会と連携し、福祉施設等における事業継続計画(BCP) 策定研修等を開催した。
- (4) 災害ボランティア研修等を実施し、県内の社協や社会福祉施設・団体と日頃からの地域福祉活動の重要性を共有した。
- また、市町社協を対象とした事業継続計画(BCP) 策定についての研修会を実施したうえで、県内 5 カ所の市社協を重点社協とし、個別の策定支援や情報共有会議を通じて、事業継続計画(BCP) 策定支援を行った。

3 福祉人材確保・育成・定着

3-1 福祉人材センター事業の充実・強化

- (1) 福祉人材無料職業紹介所として、求人、求職の相談、登録、紹介を行うとともに、インターネットの福祉人材情報システムを活用して求人情報を周知した。今年度の求人数は、昨年度の 4,185 人を 458 人上回り 4,643 人であり、求職者数は、昨年度の 2,017 人を 234 人上回り 2,251 人であった。また、就職者数は昨年度とほぼ同数の 110 人であった。



- (2) 福祉の職場への就職を希望される方、福祉の仕事に関心のある方と福祉人材を求める事業所・団体との話し合いの場を提供することにより、福祉の人材確保を図るため、今年度は新型コロナウイルスの感染対策を講じながら、午前部の部と午後部の部に分け、対面形式で福祉の職場説明会を開催した。31事業所が参加し、一般求職者及び福祉職養成校の学生など47人の参加があった。

3-2 福祉・介護マンパワーの確保

- (1) 福祉・介護人材マッチング機能強化事業として、中讃及び高松地域で福祉のしごとサポートフェアを開催した。中讃地域のサポートフェアでは、介護福祉士養成校と連携し、養成校の学生が授業の一環としてフェアに参加した。高松地域でのサポートフェアは24事業所が参加し、20人の参加があった。また、今年度は参加事業所の施設紹介等のプレゼンを事前に収録し、福祉人材センターのホームページ上で求人情報や職場の魅力発信などを行った。
- (2) 保育士就職支援事業として専門員を配置し、潜在保育士等に対する就職相談・あっ旋を行った。また、香川県等と連携して保育士を対象とした就職フェアや、潜在保育士に対する再就職支援セミナーを開催し就職支援に取り組んだ。
- (3) 令和2年度から県の受託事業として開始した介護現場における多様な働き方導入モデル事業では、介護現場において、「多様な人材層（若者・女性・高齢者等）」をターゲットとした多様な働き方による効率的な事業運営をモデル的にを行い、その成果を他の介護事業所等の参考にしてもらうための事業を実施した。県内の介護事業所のうち3事業所でモデル事業を実施し、介護助手が6人採用された。

3-3 資格取得支援等事業の推進

- (1) 質の高い介護福祉士又は社会福祉士の養成確保を目的として、香川県内及び県外の介護福祉士・社会福祉士養成施設に在学する学生に対し、修学資金の貸付け

を実施した。また、令和3年度から開始した介護分野及び障害福祉分野就職支援金の貸付事業では、他業種等で働いていた3人が介護分野及び障害福祉分野に就労することにより、介護職の人材の確保につながった。

〔令和4年度新規貸付決定者分〕

資金の種類	人数(人)	貸付決定額(円)
介護福祉士修学資金	54	87,896,800円
福祉系高校修学資金	—	—
介護福祉士実務者研修受講資金	31	6,838,620円
離職介護人材の再就職準備資金	6	1,730,814円
介護分野及び障害福祉分野就職支援金	3	392,555円

- (2) 質の高い保育士の養成確保を目的として、香川県内の保育士養成施設の学生に対して修学資金の貸付けを実施した。また、潜在保育士の再就職支援として、未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付や就職準備金の貸付等を実施した。

〔令和4年度新規貸付決定者分〕

資金の種類	人数(人)	貸付決定額(円)
保育士修学資金	21	27,820,000円
保育補助者雇上費貸付金	1事業所	2,953,000円
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付金	27	3,795,950円
就職準備金貸付金	14	4,485,617円

4 社会福祉法人・施設等への支援と福祉サービスの質の向上

4-1 社会福祉法人・施設等への支援

- (1) 令和4年度は県内の民間社会福祉施設職員等を対象とした階層別研修などを6回開催するとともに、施設関係団体が実施する研修事業に対して366,828円の助成を行った。
- (2) 小規模社会福祉法人等が参画するネットワークを構築し、協働事業を行う「小規模社会福祉法人等のネットワーク化推進事業」を実施した。令和4年度は、4つのネットワークが地域貢献のための協働事業や人材確保、災害対策などの取り組みを行った。
- (3) 高齢者施設において、新型コロナウイルス感染症の発生により職員が不足する施設に対し、他の施設から応援職員を派遣する新型コロナウイルス施設間応援事業では、検討会を2回開催し、応援派遣の課題検討やコロナ対策への情報共有を行った。また、令和5年1月19日から1月30日までの期間、派遣依頼のあった1施設に対して応援職員を延べ30人派遣した。

新型コロナウイルス施設間応援事業 協力施設の登録状況（令和5年3月末現在）

法人数	64	(内訳)	
		社会福祉法人	39
		医療法人	11
		株式・有限会社	12
		その他	1
施設数	134		

- (4) 全国社会福祉協議会種別協議会及び県内社会福祉施設・団体との連携を図るとともに、本会で事務局を担当している各種別協議会5団体（香川県社会福祉法人経営者協議会、香川県老人福祉施設協議会、香川県保育協議会、香川県社会福祉法人経営青年会、香川県福祉施設士会）の事業の運営、業務の推進に協力した。

4-2 福祉サービス運営適正化事業の推進

- (1) 福祉サービス運営適正化委員会（委員12人）を設置し、あわせて同委員会に運営監視合議体（委員8人）と苦情解決合議体（委員5人）を置くことで、県社協・市町社協が行う日常生活自立支援事業の適正な運営を確保するとともに、福祉サービス利用者等からの苦情申出を受け、適切な解決に取り組んだ。
- (2) 各合議体において、「日常生活自立支援事業の運営監視、当該事業者への助言・勧告」及び「苦情申出に対する相談対応と助言、福祉サービス事業者への適切な対応の申入れ、関係機関の紹介等」を行った。
 なお、令和4年度は、運営監視の現地調査を8市町社協で実施し、苦情相談等の受付件数は82件（平成3年度77件）であった。
- (3) 福祉施設・事業所における苦情解決体制の充実を図るため、事業者向けの苦情解決に関する研修会（オンライン講演会）を開催した。

5 法人組織体制の強化と人材育成

5-1 法人経営と事務局運営体制の強化

会務の運営として、理事会3回、評議員会2回、監事会1回、評議員選任・解任委員会1回開催し、年度事業の計画、報告、予算、決算等について審議が行われた。

5-2 職員の人材育成と組織体制の強化

- (1) 職員の人材育成への取り組みとして、社会福祉士、精神保健福祉士の資格取得を促進（受講費等の助成）するとともに、専門的研修を受講し専門性の向上を図った。令和4年度末の社会福祉士資格取得者は、総合職19人中16人、精神保健

福祉士資格取得者は4人である。

- (2) 「香川県社会福祉協議会第2次強化発展計画」に基づき、地域福祉課で職員の地区担当制を実施するとともに、課題別に①社会福祉連携協働セミナープロジェクト②市町社協へのコンサルテーションプロジェクト③特例貸付の今後の対応検討プロジェクトの3つのプロジェクトに分かれて活動を行った。
- (3) 社会福祉を取り巻く現状を踏まえ、県社協が置かれている現状や課題を分析し、今後の目指すべき県社協の姿や、5年間の地域福祉推進のための具体的な活動・行動計画を示すため、「香川県社会福祉協議会第3次強化発展計画」の策定に取り組んだ。策定にあたり検討委員会を立ち上げ、委員会を2回開催した。

5-3 広報機能の充実・強化

- (1) 機関紙「福祉香川」（年1回）の発行や、本会ホームページを通じて、社会福祉に関する情報、行事情報、ボランティア募集情報、助成金募集等を提供した。
- (2) 第69回香川県社会福祉大会を、令和4年10月27日にレクザムホール小ホールで開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者を受賞者に限定し、式典・表彰及び記念講演を行った。受賞者の参加は171人であった。
- (3) 児童福祉月間や老人の日・老人福祉週間等、各社会福祉に関する啓発運動に努めた。また、機関紙「福祉香川」等を通じて、共同募金運動の趣旨の普及と協力の呼びかけを行った。
- (4) 本会で事務局を担当している香川県ソーシャルワーカー協会、香川県民生委員児童委員協議会連合会、香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会、特定非営利活動法人後見ネットかがわ、特定非営利活動法人フードバンク香川の事業の運営、業務の推進に協力した。
- (5) 教員免許特例法による介護等体験事業における受入施設等の調整を行った。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、受入施設は12施設、参加学生は21人であった。

○ 事業実施状況

1 包括的支援体制の構築に向けた取組

1-1 権利擁護を基盤とした包括的な相談支援

1 生活福祉資金貸付事業等の実施

(1) 生活福祉資金貸付制度の周知と適正な貸付の推進

総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金、臨時特例つなぎ資金の貸付制度を広く県民に理解してもらうことを目的として、市町社会福祉協議会、福祉事務所、関係機関等を通じ、当協議会職員が研修会等に参加し制度の説明をする等、相談及び指導を行った。

また、令和2年度、3年度に続き、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響によって休業したり仕事が減少したりしたことで収入が減少した世帯に対し、緊急小口資金の特例貸付を実施し、498件の貸付を行った。あわせて、収入減少が長期にわたることで日常生活の維持が困難な世帯に対し、生活の立て直しまでの一定期間支援を行う総合支援資金の特例貸付を実施し、615件の貸付を9月末まで行った。

① 生活福祉資金貸付・償還相談会開催状況について

ア 貸付・償還相談会

実施市町	開催日数	実施市町	開催日数
高松市	2日	土庄町	1日
丸亀市	1日	小豆島町	1日
坂出市	1日	三木町	1日
善通寺市	1日	直島町	なし
観音寺市	1日	宇多津町	1日
さぬき市	1日	綾川町	1日
東かがわ市	1日	琴平町	1日
三豊市	1日	多度津町	1日
		まんのう町	1日

イ 個別相談・訪問 延べ5日

※償還相談会後の戸別訪問については、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み一部中止とし、特別に申し出のあった5件について訪問対応を行った。

② 制度説明会等の開催

ア 特例貸付における償還免除申請に関する連絡会議〔第1回〕

- ・ 開催日 令和4年6月16日
- ・ 開催方法 オンライン会議
- ・ 参加者 41人

イ 特例貸付の借受人世帯を含む生活困窮者支援に関する担当者会議〔第2回〕

- ・ 開催日 令和4年10月25日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 41人
(市町社協地域福祉・生活福祉資金・生活困窮者自立支援事業 担当課長及び担当職員等連絡会と合同)

ウ 令和5年1月以降の特例貸付償還開始に向けた担当者会議〔第3回〕

- ・ 開催日 令和4年11月29日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 36人

エ 第1回 市町社会福祉協議会常務理事・事務局長等会議

- ・ 開催日 令和4年12月15日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 32人

オ 第2回 市町社会福祉協議会常務理事・事務局長等会議

- ・ 開催日 令和5年2月21日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 28人

カ 緊急小口資金等特例貸付における市町社協担当者会議〔第4回〕

- ・ 開催日 令和5年3月10日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター（一部オンライン参加）
- ・ 参加者 38人

キ 関係機関向け制度説明会の開催

開催日	説明会名	実施市町
令和4年5月11日	福祉事務所初任現業員研修会	高松市

ク 相談業務担当者定例会の開催

内容については、「4 生活困窮者自立支援事業の円滑な実施に向けた取組
(1) 担当者会・各種研修会・事例検討会の開催」で記載のとおり。

(2) 生活福祉資金の適正な貸付

- ① 地域福祉施策の一環として、生活福祉資金貸付制度の周知に努めるとともに、貸付審査等運営委員会を3回開催し、借入申込、償還金支払免除等の審査をした。
- ② 本則の貸付決定は、福祉資金で193件・13,011千円、教育支援資金で79件・41,619千円、不動産担保型生活資金（要保護世帯分）で1件・4,956千円、臨時特例つなぎ資金で50件・2,316千円であった。
なお、総合支援資金については0件であった。
- ③ コロナ特例貸付については緊急小口資金が615件・119,970千円、総合支援資金が498件・259,515千円であった。
- ④ 県民に対するコロナ特例貸付の広報活動としてホームページを延べ5回更新した。緊急小口資金、総合支援資金（初回貸付）の申請期間終了予定や償還

の方法、償還猶予・償還免除に関することについて適宜更新を行い、償還免除の手続き方法について理解しやすい動画を作成し、広報を行った。

(3) 債権管理の強化

滞納者償還相談会については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各1回ずつの開催（直島町を除く）であったが、長期滞納世帯の状況把握と償還督促については、個別面談及び文書の送付、電話等によって行い、適切な債権管理に努めた。

(4) 不良債権の整理

生活福祉資金

- ① 償還金支払免除 9件
 - (内 訳) ア 元金 3,334,161円
 - イ 貸付利子 255,644円
 - ウ 延滞利子 8,542,969円
- ② 延滞利子の支払免除 2件 2,562,582円
- ③ 欠損補てん積立金の状況

令和4年度当初積立額	252,601,914円
貸付原資取崩額	1,711,906円
普通預金利息	14円
小 計	254,313,820円
当年度戻入額	3,334,161円
差引残額（令和4年度末積立額）	250,979,659円

(5) 借入申込及び貸付決定状況

[令和4年度生活福祉資金等申込及び貸付決定状況（通常貸付分）]

資金の種類	申込状況 A			決定状況 B			比率 B / A	
	件数	平均	金額	件数	平均	金額	件数	金額
総合支援資金	0	0	0	0	0	0	-	-
福祉資金	206	69	14,125	194	67	13,079	94.2	92.6
教育支援資金	83	582	48,317	79	525	41,489	95.2	85.9
不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	0	-	-
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	7,080	7,080	1	4,956	4,956	100.0	70.0
合 計	290	240	69,522	274	217	59,524	94.5	85.6

[令和4年度生活福祉資金等申込及び貸付決定状況（特例貸付分）]

資金の種類	申込状況 A			決定状況 B			比率 B / A	
	件数	平均	金額	件数	平均	金額	件数	金額
総合支援資金	件 665	千円 515	千円 342,235	件 498	千円 521	千円 259,515	% 78.3	% 75.8
緊急小口資金	724	195	140,820	615	195	119,970	84.9	85.2

[令和4年度臨時特例つなぎ資金申込及び貸付決定状況]

資金の種類	申込状況 A			決定状況 B			比率 B / A	
	件数	平均	金額	件数	平均	金額	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	件 53	千円 47	千円 2,476	件 50	千円 46	千円 2,316	% 94.3	% 93.5

(6) 貸付・償還状況（通常貸付分）

[令和4年度生活福祉資金貸付償還状況]

資金の種類	貸付額		未償還金 残額	償還計画 4年度分	償還済額		償還率
	4年度分	累計			4年度分	累計	
総合支援資金	千円 0	千円 363,508	千円 201,479	千円 186,793	千円 3,497	千円 162,029	% 1.87
更生資金	0	3,042,682	155,535	157,877	2,342	2,887,147	1.48
障害者更生資金	0	1,041,359	17,231	17,554	323	1,024,128	1.84
生活資金	0	72,882	939	946	7	71,943	0.78
福祉資金(旧制度含む)	4,372	494,371	57,075	34,460	4,632	437,296	13.44
住宅資金	0	1,671,431	8,136	8,213	77	1,663,295	0.94
修学資金・教育支援資金	46,086	1,215,638	190,088	41,631	15,024	1,025,550	36.09
療養・介護等資金	0	116,790	291	871	580	116,499	66.58
災害援護資金	0	80,100	3,441	3,457	16	76,659	0.46
緊急小口資金	9,988	230,596	23,233	32,132	9,792	207,363	30.47
離職者支援資金	0	46,605	8,698	9,240	542	37,907	5.87
合計	60,446	8,375,963	666,147	493,174	36,832	7,709,816	7.47
不動産担保型支援資金	0	11,253	0	0	0	11,253	-
要保護世帯向け 不動産担保型支援資金	2,883	106,745	84,461	0	0	22,284	-
合計	63,329	8,493,961	750,608	493,174	36,832	7,743,353	7.47

※貸付額は、本年度中に決定したものと、過年度中に決定し、分割して交付中のものを含む。

[令和4年度 臨時特例つなぎ資金貸付償還状況]

資金の種類	貸付額		未償還金 残額	償還計画 4年度分	償還済額		償還率
	4年度分	累計			4年度分	累計	
臨時特例つなぎ資金	千円 2,356	千円 40,956	千円 7,445	千円 9,310	千円 2,036	千円 33,511	% 21.87

(7) 特例貸付にかかる債権管理

① 緊急小口資金もしくは総合支援資金（初回）の借入を、令和4年3月末までに申請した借受人に対し、下記のとおり償還免除案内及び償還開始のお知らせ等の送付を実施した。

- ア 償還免除案内 5～6月（13,496件）
 （内訳：緊急小口資金：8,903件、総合支援資金（初回）：4,593件）
 ・償還免除申請締切 9月末 ※締切後も申請の受付は継続。
- イ 償還免除決定通知送付 9月以降、概ね月2回の間隔で送付
- ウ 償還開始のお知らせ 12月
- エ 償還開始 令和5年1月から順次
 ※償還困難者への対応として、償還猶予申請及び、生活保護受給・重度障害者手帳の所持・借受人死亡・自己破産等による免除等の案内を同封。

② 特例貸付にかかる償還免除の状況

市 町	令和4年度償還免除対象 R4.3末までに決定した 緊急小口資金及び 総合支援資金（初回）		申請免除及び職権免除の決定数・金額 (令和4年9月1日～令和5年3月31日分)					
			緊急小口資金		総合支援資金（初回）		件数 合計	金額合計 (円)
	債権数	金額（円）	債権数	金額（円）	債権数	金額（円）		
高松市	6,765	1,986,890,000	1,788	336,204,290	1,044	522,255,000	2,832	858,459,290
丸亀市	2,163	643,980,000	525	99,616,720	311	160,950,000	836	260,566,720
坂出市	514	148,330,000	117	21,720,010	63	32,520,000	180	54,240,010
善通寺市	532	157,980,000	148	27,950,000	86	43,320,000	234	71,270,000
観音寺市	681	200,530,000	199	37,800,000	101	50,980,000	300	88,780,000
さぬき市	417	126,750,000	99	18,050,000	58	30,140,000	157	48,190,000
東かがわ市	186	51,500,000	80	14,300,000	34	18,300,000	114	32,600,000
三豊市	494	149,970,000	123	22,990,000	68	36,350,000	191	59,340,000
土庄町	103	28,840,000	37	6,636,000	22	10,240,000	59	16,876,000
小豆島町	119	33,955,000	44	8,700,000	22	11,205,000	66	19,905,000
三木町	199	59,750,000	52	9,641,670	26	13,641,670	78	23,283,340
直島町	15	4,050,000	7	1,400,000	2	1,050,000	9	2,450,000
宇多津町	272	79,670,000	62	11,550,000	32	17,850,000	94	29,400,000
綾川町	191	60,540,000	53	10,200,000	32	16,340,000	85	26,540,000
琴平町	215	62,750,000	52	9,858,350	33	14,790,000	85	24,648,350
多度津町	439	133,380,000	70	13,700,000	47	25,300,000	117	39,000,000
まんのう町	191	59,490,000	44	8,600,000	28	14,340,000	72	22,940,000
合 計	13,496	3,988,355,000	3,500	658,917,040	2,009	1,019,571,670	5,509	1,678,488,710

令和4年度の免除対象債権13,496件中、年度末までに約40.8%となる5,509件が償還免除決定となっている。免除債権の内訳としては、下記のとおり。

ア 令和3年度または4年度非課税による免除

- ・緊急小口資金 3,311件/625,169,370円
- ・総合支援資金 1,923件/980,596,670円

イ 生活保護受給による免除

- ・緊急小口資金 40件/6,636,000円
- ・総合支援資金 17件/7,100,000円

ウ 重度障害者手帳の所持による免除

- ・緊急小口資金 8件/1,491,670円
- ・総合支援資金 6件/2,635,000円

エ 借受人死亡による免除

- ・緊急小口資金 54件/9,520,000円
- ・総合支援資金 26件/11,470,000円

オ 自己破産免責確定による免除

- ・緊急小口資金 87件/16,100,000円
- ・総合支援資金 37件/17,770,000円

③ 特例貸付にかかる償還猶予の状況

償還猶予件数は緊急小口資金で231件、総合支援資金（初回貸付）で147件（合計378件）となっており、申請理由については下記のとおりである。

ア 地震や火災等に被災した場合 該当なし

イ 病気療養中の場合 33件

ウ 失業又は離職中の場合 97件

エ 奨学金や事業者向けのローン（住宅ローン以外）等、他の借入金の償還猶予を受けている場合 8件

オ 自立相談支援機関に相談を行った結果、償還猶予を行うことが適切であるとの意見を受けた場合 240件

④ 特例貸付にかかる償還の状況

償還件数は緊急小口資金で1,643件、総合支援資金（初回貸付）で679件（合計2,322件）となっており、償還未納件数（未手続者含む）は緊急小口資金で3,510件、総合支援資金で1,673件（合計5,183件）となっている。今後、市町社協との連携により、未手続者へのアプローチを推進していく予定である。

2 子育てが困難な状況にある家族及びその子ども等への支援

子育てが困難な状況にある家族及びその子ども等の自立の実現のため、児童養護施設退所者等に対する自立支援資金の貸付や、ひとり親家庭の親に対する住宅支援資金の貸付を行い、自立を支援した。

(1) 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業の実施

- ① 貸付業務の広報周知のため貸付事業の手引を作成し、香川県子ども家庭課を通じ、児童養護施設等に配布した。

② 貸付対象者審査委員会を開催し、貸付対象者を決定した。

- ・ 開催日 令和5年3月17日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 内 容 貸付決定 10人

③ 児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付

- ・ 生活支援費 6件 12,000,000円
- ・ 家賃支援費 8件 7,320,000円

(2) ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業の実施

- ① 貸付業務の広報周知のため貸付事業の手引を作成し、各福祉事務所に配布した。
- ② 随時審査をし、下記のとおり貸付対象者を決定した。
- ③ ひとり親家庭住宅支援資金貸付
貸付決定 7件 3,240,000円

3 生活困窮者自立支援事業の実施（自立相談支援事業・家計改善支援事業）

(1) 相談支援員の配置と町社協との連携協働による事業実施

必須事業である自立相談支援事業については各町社協と「香川県生活困窮者自立支援協議会」を設置し、引き続き、県から事業を受託した。主任相談支援員を県社協に、相談支援員を各町社協に配置、関係機関・団体と連携・協働しながら、複雑・多様な生活課題・福祉課題を抱える相談者への支援に取り組んだ。

任意事業である家計改善支援事業については、家計改善支援員を県社協に配置、家計支援を通して、相談者の生活の安定に取り組んだ。

また、相談業務担当者会や連絡会を開催し、県内の担当者のスキルアップや実施体制の強化に努めた。

(2) 相談・支援状況について

ア 相談受付件数（本人未特定含む）

（単位：件）

		土庄	小豆島	三木	直島	宇多津	綾川	琴平	多度津	まんのう	計	累計※
自立相談	新規相談	5	4	7	1	6	18	12	57	8	118	1,484
	プラン作成	3	0	0	0	4	4	4	4	0	19	198
家計相談	新規相談	0	0	2	0	1	6	1	3	0	13	187
	プラン作成	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4	65

※累計：平成27年4月～令和5年3月

イ 初回相談内容（複数回答あり）

相談内容	件数	割合 (%)	相談内容	件数	割合 (%)
病気や健康、障害のこと	14	6.4	地域との関係について	0	0.0
住まいについて	17	7.8	家族との関係について	9	4.1
収入・生活費のこと	91	41.7	子育てのこと	5	2.3
家賃やローンの支払いのこと	21	9.6	介護のこと	4	1.8
税金や公共料金等の支払いについて	12	5.5	ひきこもり・不登校	1	0.5
債務について	5	2.3	DV・虐待	1	0.5
仕事探し、就職について	22	10.1	食べるものがない	8	3.7
仕事上の不安やトラブル	5	2.3	その他	3	1.4

ウ 家計改善支援実施状況

	土庄	小豆島	三木	直島	宇多津	綾川	琴平	多度津	まんのう	計
本人面談回数	0	0	2	0	4	30	14	4	0	54

(3) 支援調整会議等各種会議等への参加

支援調整会議への参加

回	開催日	社協名	場所	調整件数	参加者
1	令和5年3月29日	宇多津町 綾川町	中讃保健福祉事務所	プラン4件	14人

4 生活困窮者自立支援事業の円滑な実施に向けた取組

(1) 担当者会・各種研修会・事例検討会の開催

相談業務担当者定例会の開催

生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業、生活困窮者自立相談支援事業等、相談業務に携わる職員を対象に、総合相談・支援事業のさらなる充実や困難事例への対応について、社協全体で取り組めるよう、各事業の取組を理解し、社協内での連携を深めるとともに、担当者の資質向上や様々な社会資源とのつながりを構築することを目的に開催した。

開催日	内容	開催場所	参加者(人)
令和4年 5月20日	・事業説明 ・各事業意見交換	香川県社会福祉総合センター	35
8月23日	・事例検討 (障がいのある方やグレーゾーンの方に対する就労支援) 障害者就労・生活支援センター共生 植村 久美子 氏		33

開催日	内容	開催場所	参加者(人)
11月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍の方に対する理解や、支援をするうえで必要な知識について 高松出入国管理局 統括審査官 芳賀 延寿氏 入国審査官 御堂 広夢氏 公益財団法人香川県国際交流協会 専務理事兼事務局長 鈴木 里枝氏	香川県社会福祉総合センター	27
令和5年 2月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討 (不登校の子どもがいる家庭に対する支援) 香川県教育委員会他 スクールソーシャルワーカー 藤澤 茜 氏		23

(2) 特定非営利活動法人フードバンク香川事務局の運営

企業・団体から食品の提供・寄付をいただき、社会福祉施設や生活困窮者支援団体等に提供するコーディネートを行い、食品ロスの削減と「食品」を介して支え合いの地域づくりの推進に取り組んだ。

5 居住支援法人活動支援事業の実施

住宅相談など住宅への円滑な入居に係る情報提供や相談、家賃債務保証など、香川おもいやりネットワーク事業と一体的に取り組んだ。

6 日常生活自立支援事業の実施

(1) サービス実施体制の整備と相談機能の強化

県内全市町社協と業務委託契約を締結した。適正な事業の実施のため、事業に従事する職員を配置し、研修会を開催するとともに、本事業の一層の円滑な利用を図るため、各関係機関へパンフレットを配布し、事業の周知を行った。専門員は61人、生活支援員は210人である。(令和5年3月31日現在)

① 相談業務担当者定例会の開催(専門員研修会の開催)

内容については、「4 生活困窮者自立支援事業の円滑な実施に向けた取り組み

(1) 担当者会・各種研修会・事例検討会の開催」で記載のとおり。

② 専門員研修会

ア 権利擁護事業担当者会

- ・ 開催日 令和5年2月28日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 21人
- ・ 内 容

○権利擁護支援に関する現状と課題、今後の取り組みについて

○その他

③ 生活支援員研修会

ア 日常生活自立支援事業新規登録生活支援員研修会

- ・ 開催日 令和4年5月26日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 41人
- ・ 内 容
 - 日常生活自立支援事業説明
 - 講義「対象者の理解と支援の際に心がけることについて」
 講師 社会福祉士 高橋 順子 氏
 社会福祉士 徳永 実 氏
 精神保健福祉士 濱田 彩香 氏

イ ブロック別生活支援員研修会

会場	開催日	場 所	内 容	参加者(人)
東会場	令和5年 3月14日	香川県社会福祉 総合センター	①事業報告 日常生活自立支援事業実施状況について	9
西会場	3月15日	丸亀市保健福祉 センター	②講義「障害のある方の支援について」 講師 社会福祉士 徳永 実 氏	36

(2) 事業に関する機関・団体との連携

香川県社会福祉士会、香川県精神保健福祉士協会、香川県司法書士会等と勉強会を開催した。また、関係する機関の会議へ参加し、本事業の円滑な推進に努めた。

① 勉強会等の開催

開催日	場 所	内 容	参加者(人)
令和4年 9月17日	香川県社会 福祉総合セ ンター	勉強会「コロナ禍での支援について」 講師：社会福祉士 高橋 順子 氏 社会福祉士 梅下 一也 氏	19
12月3日		事例報告会「第33回あんしん相談会事例報告会」 担当団体 香川県司法書士会 福崎 悦司 氏 社会福祉協議会 釣井 奈々 氏	13
令和5年 2月18日		勉強会「日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行について」 講師：社会福祉協議会 松原 秀和 氏	18

② 高齢者や障がい者等のあんしん相談会の開催

開催日	場 所	内 容	相談件数
令和4年 11月19日	高松市仏生山交流 センター	「第33回高齢者や障がい者等のあんしん相談会」	7件

(3) 事業の適正な運営の確保

契約締結審査会を定期的に開催し、契約締結能力に疑義が生じた場合、支援内容を

変更する場合等、審査・助言を専門家から受け、利用者に適切な支援を行った。

また、運営適正化委員会（運営監視合議体）の現地調査（8か所：高松市、丸亀市、観音寺市、さぬき市、土庄町、三木町、綾川町、多度津町社協）への協力や事業の実施状況報告を行い、事業の透明性・公正性に努めた。

〔契約締結審査会の開催〕

審査、助言を受けたケースは3ケースであった。開催回数は3回であった。

回	開催日	場 所	内 容
第1回	令和4年 5月12日	香川県社会 福祉総合セ ンター	助言依頼「本事業における再契約について」
第2回	6月9日		助言依頼「本事業における今後の支援について」
第3回	10月13日		助言依頼「本事業における新規契約について」

（4）相談、契約業務の状況

全県下相談・契約の状況は以下のとおりである。（令和4年度件数）

① 相談・問い合わせ件数

社協名	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明		
高松市社協	1,628	3,432	3,349	814	1	9,224
丸亀市社協	1,554	518	848	30	0	2,950
坂出市社協	228	417	375	126	0	1,146
善通寺市社協	625	2,603	648	141	0	4,017
観音寺市社協	1,138	1,815	842	207	0	4,002
さぬき市社協	1,040	1,147	538	66	15	2,806
東かがわ市社協	374	329	1,765	88	0	2,556
三豊市社協	1727	1,370	2,090	1,029	1	6,217
土庄町社協	209	190	98	29	0	526
小豆島町社協	34	24	154	0	0	212
三木町社協	106	229	195	131	0	661
直島町社協	112	0	0	0	150	262
宇多津町社協	582	369	647	198	0	1,796
綾川町社協	501	509	410	254	0	1,674
琴平町社協	419	0	222	318	0	959
多度津町社協	334	230	293	1	0	858
まんのう町社協	13	38	32	19	0	102
県社協	25	11	11	15	19	81
合 計	10,649	13,231	12,517	3,466	186	40,049

	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	不明		
令和3年度合計	11,097	12,045	12,578	2,787	103	38,610
令和2年度合計	10,016	10,612	13,081	2,273	90	36,072
令和元年度合計	10,824	10,674	11,763	2,268	186	35,715
令和30年度合計	11,451	9,608	10,580	2,163	142	33,944
平成25年度合計	8,424	6,168	7,835	1,981	160	24,568
平成20年度合計	4,561	2,871	3,888	839	128	12,287
平成15年度合計	1,951	1,113	728	89	9	3,890
平成12年度合計	89	32	20	9	31	181
平成11年度合計	19	6	1	0	0	26

※ 平成11年度は平成11年10月～平成12年3月31日である。

② 契約締結件数

社協名	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合 計
高松市社協	9	9	13	3	34
丸亀市社協	15	3	1	0	19
坂出市社協	6	1	4	4	15
善通寺市社協	1	3	1	0	5
観音寺市社協	9	3	1	0	13
さぬき市社協	1	2	0	1	4
東かがわ市社協	5	1	3	0	9
三豊市社協	2	3	1	2	8
土庄町社協	3	1	1	3	8
小豆島町社協	1	0	3	0	4
三木町社協	2	0	1	2	5
直島町社協	0	0	0	0	0
宇多津町社協	3	3	3	2	11
綾川町社協	2	1	1	2	6
琴平町社協	1	0	1	2	4
多度津町社協	0	1	0	0	1
まんのう町社協	0	0	0	0	0
合 計	60	31	34	21	146
令和3年度合計	86	28	27	16	157
令和2年度合計	56	35	38	16	145
令和元年度合計	62	41	37	11	151
平成30年度合計	54	28	40	11	143
平成25年度合計	50	16	32	13	111

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
平成 20 年度合計	81	56	56	12	205
平成 15 年度合計	62	40	15	5	122
平成 12 年度合計	13	4	3	0	20
平成 11 年度合計	0	0	0	0	0

③ 利用者数

	認知症 高齢者等	知的 障害者等	精神 障害者等	その他	合計
高松市社協	34	70	55	13	172
丸亀市社協	34	11	10	0	55
坂出市社協	12	22	26	8	68
善通寺市社協	7	12	6	2	27
観音寺市社協	24	29	15	2	70
さぬき市社協	21	10	6	1	38
東かがわ市社協	24	8	9	3	44
三豊市社協	11	16	14	9	50
土庄町社協	7	9	5	4	25
小豆島町社協	1	2	9	0	12
三木町社協	10	12	9	6	37
直島町社協	3	0	0	0	3
宇多津町社協	15	7	10	5	37
綾川町社協	10	9	5	4	28
琴平町社協	4	0	3	4	11
多度津町社協	8	5	11	0	24
まんのう町社協	0	3	1	1	5
合計	225	225	194	62	706
令和 4 年 3 月末	228	225	188	50	691
令和 3 年 3 月末	207	211	185	43	646
令和 2 年 3 月末	229	196	189	38	652
令和元年 3 月末	226	185	179	39	629
平成 26 年 3 月末	169	131	124	33	457
平成 21 年 3 月末	127	88	81	17	313
平成 16 年 3 月末	65	45	18	4	132
平成 13 年 3 月末	13	3	2	0	18
平成 12 年 3 月末	0	0	0	0	0

1-2 多様な支援・活動のためのネットワークづくりと地域づくり、参加支援の取組

1 重層的支援体制構築に向けた後方支援事業の実施

社会福祉法の改正により、重層的支援体制整備事業が法定化され、複雑・多様化している地域生活課題に対応するため、地域における包括的な支援体制の構築に取り組むこととされている。令和3年度から実施している後方支援事業を令和4年度も継続し、香川県において、包括的な支援体制構築に取り組もうとする市町を支援するため、市町行政職員や社会福祉協議会職員等を対象とした研修の実施や地域の相談支援体制等の現状を把握し、今後の取組みについて検討することを目的にヒアリング調査を実施した。

(1) 包括的な支援体制の構築に向けた研修の開催

① 包括的支援体制構築に関する研修

ア 重層的支援体制整備事業研修会

目的	地域共生社会の理念を学び、事例報告を基に、各市町の既存の事業や機能の確認と包括的支援体制整備に向けた展開について考えることを目的に開催した。
開催日	令和4年5月20日
開催方法	オンライン
参加者	108人（県市町行政・社協職員）
内容	【講義】 「包括的支援体制の構築に向けて」 （講師）日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏 【事例報告】 「包括的支援体制の整備に向けた取組みについて」 （報告者）鳥取県北栄町福祉課 生活支援室長 松嶋 まゆみ 氏 長野県伊那市社会福祉協議会 地域福祉課長 矢澤 秀樹 氏 （コメント）日本福祉大学 社会福祉学部 教授 原田 正樹 氏

イ コミュニティソーシャルワーク研修

目的	市町における重層的支援体制の整備に取り組むにあたり、社会福祉に関わる一人ひとりがコミュニティソーシャルワークの視点をもつことが必要とされている。それらを踏まえ、県内の事例を基に、コミュニティソーシャルワークの視点や展開プロセス、手法を学ぶことを目的に開催した。
開催日	（前期）令和4年7月28日～29日 （後期）令和4年10月12日～13日
場所	香川県社会福祉総合センター
参加者	23人（社会福祉施設職員6人、県市町社協職員14人、その他3人）
内容	（前期） 【講義①】 「地域共生社会政策時代における地域包括ケアとコミュニティソーシャルワーク」 【演習①】 ～事例を基に考える～ （事例提供者） ・善通寺市地域包括支援センター 係長 森田 宏 氏 ・香川県地域生活定着支援センター センター長 福家 伸次 氏 ・高松第二保育園 保育士 堀 里美 氏 ・香川県社会福祉協議会 地域福祉課 松本 圭世 【演習②】 「コミュニティソーシャルワークの視点による個別課題アセスメント」

内 容	<p>【演習③】「コミュニティソーシャルワークの視点による問題解決方針の立案と援助システムづくり」</p> <p>【演習④】ロールプレイ「ヴァルネラビリティのある人の相談支援」</p> <p>【講義②】「ヴァルネラビリティのある人の特性とアウトリーチの必要性」</p> <p>【演習⑤】コミュニティソーシャルワークの展開と問題解決プログラム開発</p> <p>【事例検討】「コミュニティソーシャルワークの支援による問題解決方針の立案と援助システムづくり」</p> <p>(講師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏 ・香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会 代表 越智 和子 氏
-----	---

② 事例検討

目 的	参加者の事例を基に、問題解決のためのソーシャルサポートネットワークやプログラム開発を検討した。
開催日	令和5年1月18日
場 所	香川県社会福祉総合センター
参加者	21人（社会福祉施設職員5人、県市町社協職員13人、その他3人）
内 容	<p>【演習】問題解決プログラムの検討</p> <p>(講師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏 ・香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会 代表 越智 和子 氏

③ 市町へのヒアリングの実施

各市町所管部署へ県職員及び当会職員で訪問し、各市町における事業の取組状況の把握や意見交換を行った。

市町名	高松市	丸亀市	坂出市	善通寺市	観音寺市	さぬき市	東かがわ市	三豊市
日程	7月7日	6月22日	6月22日	6月20日	7月4日	6月22日	6月22日	7月4日
状況	実施	移行準備	検討中	未実施	未実施	実施	検討中	未実施

土庄町	小豆島町	三木町	直島町	宇多津町	綾川町	琴平町	多度津町	まんのう町
6月24日	6月24日	6月22日	6月22日	6月20日	7月4日	6月22日	6月22日	7月4日
検討中	未実施	未実施	未実施	未実施	移行準備	移行準備	未実施	検討中

④ 意見交換会の開催

県内で重層的支援体制整備事業を実施または移行準備に取り組んでいる自治体及び社協で、各市町の実施状況や課題について情報共有・意見交換を行った。また、厚生労働省所管部署にオンラインで参加いただき、事業実施におけるアドバイスをいただいた。

- ・ 開催日 令和4年8月23日
- ・ 場 所 香川県国際交流会館（アイパル香川）／オンライン
- ・ 参加者 24人（高松市、丸亀市、坂出市、さぬき市・社協、土庄町、綾川町、まんのう町、県・社協）

(2) 市町における支え合いの地域づくりの取組み推進

① 社会福祉連携協働セミナーの開催

- ・ 開催日 令和5年2月8日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター

- ・ 内 容 シンポジウム「地域生活を支える社会福祉法人の取組」
 <シンポジスト>
 - ・ 社会福祉法人 池田博愛会 法人本部副部長 岡 千賀子 氏
 - ・ 社会福祉法人 伯耆の国 理事長 山野 良夫 氏
 - ・ 社会福祉法人 同愛会 理事長 菊地 月香 氏
 <コーディネーター> 日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏
 - ・ 参加者 57人（社会福祉施設・社協役職員、民生委員児童委員、
 県社協賛助会員等）
- ② アンガーマネジメント研修の実施
- ・ 開催日 令和4年9月15日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 講 師 日本アンガーマネジメント協会 谷川 由紀 氏
 - ・ 参加者 25人（社会福祉施設職員16名、社協職員9名）
- ③ メンタルヘルス研修の実施
- ・ 開催日 令和5年2月21日
 - ・ 開催方法 オンライン
 - ・ 講 師 香川カウンセリングセンター 浅海 明子 氏
 - ・ 参加者 27人（社会福祉施設職員10名、社協職員17名）
- ④ 福祉教育の推進に向けた取組み
- 本県における福祉教育の取組みを進めることを目的とし、全国社会福祉協議会が実施する「全国福祉教育推進員研修」を市町社協職員と一緒に受講した。
- ・ オンデマンド研修 令和4年6月27日～7月22日
 - ・ 都道府県集合研修 令和4年8月3日
 - ・ 参加者 さぬき市社協、三豊市社協、東かがわ市社協、琴平町社協、県社協
- ⑤ 食でつながるフェスタの開催
- 一般社団法人全国食支援活動協力会共催で赤い羽根福祉基金及びアサヒ飲料の助成を受け、子ども食堂等の食を通じた活動に取り組んでいる方・団体やその活動を応援する人・団体がお互いの活動を知り、つながりを広め、深めることを通して、地域づくりを考えることを目的に開催した。
- ・ 開催日 令和4年9月9日
 - ・ 場 所 香川県立保健医療大学
 - ・ 内 容 ア 活動報告～食を通じた活動が起こした地域の変化～
 <話題提供者>
 - ・ まもりん食堂 三谷 美奈子 氏
 - ・ 香川県立三本松高等学校 校長 泉谷 俊郎 氏
 - ・ 善通寺市社会福祉協議会 主事 大藤 千津 氏
 - ・ 香川県農業協同組合 総合企画課 中川 龍郎 氏
 - ・ 高松信用金庫 業務推進部 岡田 勝博 氏
 <コーディネーター>
 - ・ 気まぐれ八百屋だんだん 近藤 博子 氏

イ 交流会

- ・ 参加者 118人（子ども食堂等の活動者35人、活動を応援している人52人
活動に興味のある人14人、学生17人）
- ・ 実行委員会の開催

回	日程	場所	内容
1	令和4年 6月10日	香川県社会福祉総 合センター／オン ライン	1 開催内容案について 2 今後の進め方について 3 その他
2	6月30日		1 開催内容案について 2 広報について 3 今度の予定について 4 その他
3	7月12日	高松商工会議所／ オンライン	1 開催内容について 2 広報について 3 今後の予定について 4 その他
4	8月25日	アイパル香川／オ ンライン	1 現状について 2 当日の役割分担について 3 その他
5	9月28日	香川県社会福祉総 合センター／オン ライン	1 振り返り及び今後の取組について 2 チャレンジ企画の選定について 3 その他

・その他

企業からの寄付金を財源に、「チャレンジ企画」を募集し、食を通じた新たな活動や既に取り組んでいる活動の助成（上限10万円）を行った。

助成団体：三本松地区活性化協議会海月食堂、NPO法人メロディー、
メタセコイヤの家、アール・ツウふれあい食堂

2 香川おもいやりネットワーク事業の推進

平成27年度に事業を開始し、地域の福祉関係者や民生委員・児童委員等のネットワークづくりや人づくり、地域づくりに取り組んできたが、地域における包括的支援体制整備に向けた取組みであるとの認識のもと、各市町（圏域）でのネットワーク会議や認定事業に取り組んだ。コロナ禍の中で、施設、社協、民生委員・児童委員が協働した取組みを積極的に展開することはできなかった。

- (1) 地域のネットワーク構築に向けた取組と地域におけるネットワーク構築に向けて、各市町においてネットワーク等会議を開催した。

① 市町地域ネットワーク等会議の開催

市町名	開催日	参加者(人)	主な内容
丸亀市	令和5年3月24日	35	・施設におけるBCP策定の講演実施 ・おもいやりネットワーク事業の広報
さぬき市	令和4年6月14日	32	代表者会・実務者会
	令和4年4月27日	16	個別ケース検討会 ・ケース検討及び報告
	5月23日	20	
	6月27日	17	
	7月27日	16	
	8月31日	16	
	9月28日	14	
	10月26日	17	
	11月28日	17	
	12月19日	15	
	令和5年1月26日	16	
2月27日	15		
3月20日	15		
	令和4年11月26日	33	さぬき市福祉避難所研修会
三豊市	令和4年6月24日	11	意見交換、情報提供 ・事例紹介・近隣迷惑、苦情 ・気になる方の見守り等について ・困難事例の共有について
	10月6日	11	
	令和5年3月24日	12	
土庄町 小豆島町	令和4年4月13日	24	・各施設間の情報交換・共有・相談 ・今後の実施事業について ※1 代表者会、※2 実務者会、これ以外は地域 ネットワーク会議
	5月11日	16	
	6月8日	15	
	7月13日	15	
	※1 7月26日	14	
	8月10日	14	
	※2 8月16日	11	
9月14日	14		
宇多津町	令和4年11月12日	11	・おもいやりネットワークの現状と今後の 活動について ・巡回訪問について
琴平町 まんのう町	令和4年7月1日	12	・おもいやりネットワーク活動状況 ・活動報告や今期の活動計画 ・法人間で連携できる活動について
	11月4日	8	
	令和5年3月3日	10	

市町名	開催日	参加者(人)	主な内容
多度津町	令和4年6月28日	31	・「キーパーソンの居ない方を地域で受け止めるために」(2回目) 職種(機関)別にグループ分けし、架空の事例についてそれぞれの立場で大切にすべき事、相談先(連携先)、できる事を話し合った。

② 参画法人数 79 法人/195 法人(令和5年3月末日現在)

[内訳] 98 施設・18 県市町社協、計 116 か所

特別養護老ホーム 40、介護老人保健施設 5、養護老人ホーム 3、
軽費老人ホーム・ケアハウス 8、障害者支援施設 12、
障害福祉サービス事業所 12、救護施設 1、保育所 11、
県市町社協 18、その他の施設 6

③ 協力会員 1 団体

(2) 総合相談・支援事業の取組

① 本人の地域での自立生活に向けた相談・支援の実施

○相談・支援件数

(件)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談・支援件数	189	213	232	222	211
現物給付件数	71	99	83	66	114

○現物給付実績

(円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
家賃・住宅費用	1,352,759	609,910	895,172	346,442	681,120
電気料金	458,017	646,845	627,288	456,832	533,185
携帯電話等通信料	660,533	249,980	435,046	48,834	344,070
ガス料金	129,729	103,858	100,439	35,373	154,591
食材・食品購入費	118,540	66,189	116,274	82,692	82,069
税金滞納分支払費	0	260,700	2,400	12,100	0
施設利用料	21,140	68,520	22,385	28,358	262,765
水道料金	49,028	29,203	75,316	78,745	57,446
その他(※)	587,780	1,310,890	1,214,992	531,141	380,836
計	3,377,526	3,346,095	3,489,312	1,620,517	2,496,082

※その他

住民票、ごみ処理代、医療費、自転車、交通費、PCR検査代、振込手数料、通帳再発行手数料、
後見申立費用、設備設置費

○市町別（令和4年度）

市町名	件数	金額（円）	市町名	件数	金額（円）
高松市	43	867,902	土庄町	3	54,841
丸亀市	3	114,020	小豆島町	1	17,311
坂出市	0	0	三木町	7	193,299
善通寺市	3	120,054	直島町	0	0
観音寺市	1	22,085	宇多津町	3	117,369
さぬき市	3	137,304	綾川町	0	0
東かがわ市	2	16,219	琴平町	17	174,011
三豊市	1	5,440	多度津町	15	450,790
			まんのう町	12	205,437

合計 114 件 2,496,082 円

（3）地域の社会資源や新しいサー

ビス開発、地域の居場所づくり、権利擁護体制の推進

- ① 入居債務保証支援モデル事業の検証、居住支援の取組の推進（居住支援法人活動との一体的な取組）

ア 入居債務保証支援モデル事業利用状況（令和5年3月末日現在）

契約件数 68 件（内、26 件解約済）

イ 居住支援協議会への参加

居住支援協議会へ参加し、関係機関・団体との連携、情報共有を図った。

- ② 認定事業（居場所づくり等モデル事業）の拡充

これまでの総合相談支援の中から見えてきた課題に対応するため、社会福祉法人が取り組む地域の居場所づくり等を認定事業として1事業が実施する場合は10万円まで、複数の事業所が連携して実施する場合は20万円までの助成を行うように要綱を変更し、事業を実施した。

	事業所名	事業名	課題と取組内容	助成額（円）
1	絹島荘	絹島スマイル食堂	[課題]一人暮らしの方が多く、誰かと一緒に食べる時間が必要。豊かな食事が必要。 [取組]地域サロン会等にご依頼があればお弁当をお届けし、少しの時間でも交流する時間があれば、献立の説明や栄養のちょっとしたお話をする。	100,000
2	絹島荘	認知症カフェ『結の会』	[課題]認知症になっても、認知症の人や家族が安心して地域で生活できるように人や地域、制度とのつながりを結ぶ。認知症の正しい知識や予防方法への理解を深める。 [取組]専門職講師によるお話。参加者同士の交流、茶話会。	100,000

	事業所名	事業名	課題と取組内容	助成額 (円)
3	絹島荘	スマイル&スマイル講座	[課題]一人暮らしで行くところがない。話すこともない。声を出して笑うことがない。という住民の言葉。 [取組]①体操・ストレッチ ②学習療法 ③レクリエーション(集団レク・五目ならべ・オセロ・ボードゲームなど) ④季節のクラフト作りやトールペイント ⑤パズルでリハビリ	100,000
4	絹島荘	買い物支援 GOGO	[課題]買い物に不自由する高齢者 [取組]各自治会館等最寄りの集合場所から大型スーパー(マルナカ白鳥店・ビッグ寒川点)までの往復バス運行	100,000
5	絹島荘	地域ぐるみ防災訓練	[課題]災害時避難場所になっているが、具体的に何をしたらよいのか、十分な知識がない。 [取組] ・実際災害にボランティアとして参加したスタッフの体験談 ・新聞で作ろうスリッパ ・防災食の炊き出し体験・フードトラックの活用 ・災害時のクロスロード ・災害時のいろいろな知識を知るお話 など	60,000
6	ヌーベルさんがわ ヌーベルかんざき	フリースペース事業 他	[課題]子供の居場所の問題、食事の問題等の課題 [取組] ・フリースペース:コミュニティカフェヌーベルかんざきを拠点に、子どもの居場所づくり、学習支援、こども食堂の実施(毎週土曜日) ・児童館延長預かり支援 ・昼食のお弁当支援 ・フリースペース:ヌーベルさんがわにて、居場所・食事支援	68,966
7	ヌーベル木太	木太町育成会	[課題]コロナによる影響で、地域行事等が自粛・縮小、住民同士のつながりが減少 [取組]育成会の畑とヌーベル木太で育てたさつま芋を、子ども達とデイサービス利用者が一緒に収穫し、焼き芋をして交流を図る。	68,474
8	ヌーベル木太	子供会行事	[課題]コロナによる影響で、地域行事等が自粛・縮小、住民同士のつながりが減少 [取組]高須子ども会の年間行事である餅つきを、デイサービス利用者と一緒にやる。	61,385

	事業所名	事業名	課題と取組内容	助成額 (円)
9	大寿苑	ボランティア講座 ～楽しく学ぶ 防災講座～	[課題]土砂災害、水害等災害が想定される地区だが大規模地震等災害が起こった場合のイメージができていない。 [取組]毎月1回、防災に関連する内容の講義や演習を行う	50,000
10	大寿苑	大寿苑 デイサービスセンター	[課題]感染症対策のため動かないことにより、身体の動きや心の元気が低下 [取組]感染症や災害への対応力強化、精神的なケアによるストレスの軽減、様々な症状の進行を緩やかにする。	31,243
11	マリアの園	買い物支援サービス	[課題] ・一人暮らしや高齢世帯の日々の買い物に困っている。 ・外出機会の減少で閉じこもりがちになっている。 ・体を動かす機会や他者との関わりが少なくなっている。 [取組] ・各自宅からスーパーまでの送迎 ・買い物時の付き添い ・レジの対応 ・荷物の上げ下げ、玄関まで持ち運び等	7,225
12	高松市社会福祉協議会	ボランティア参加交流事業 「ONE STEP～手と手をあわせて一歩前へ～」	[課題] ・就労を希望しながらも、なかなか就労に結びつかないケースへの対応 ・学生とのつながり維持 [取組]就労希望ボランティアに対し、声掛けやサポートを行いながら、ボランティアに行ってもらおう。	100,000
13	高松市社会福祉協議会	在宅福祉サービス事業	[課題]既存の制度や福祉サービスでは対象とならない人や世帯、対応出来ないニーズ等の相談が増加 [取組] ・制度やサービスの「はざま」にある困りごとの把握 ・住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり	100,000
14	丸亀市社会福祉協議会	社会資源マップを広め、更に多くの人におもいやりネットワーク事業を知ってもらおう	[課題]おもいやりネットワーク事業の認知度の低さ、「どこに相談すれば良いかわからない」という意見 [取組]作成したマップを地域住民の手にとってもらおうことで、福祉の相談窓口や社会資源を知ってもらい、おもいやりネットワーク事業自体の認知度を上げる。	100,000
計				1,047,293

③ 広報啓発助成事業の実施

香川おもいやりネットワーク事業の効果的な広報・周知を目的とし、各参画法人におけるイベント等広報啓発事業に対して、助成を行った。

	施設名	内容（実施期日）	助成額（円）
1	絹島荘	広報・啓発グッズ作成、配布	50,000
2	支援センターウィズ	チラシ印刷、配布	4,000
3	ヌーベル木太	イベントにおけるチラシ配布	50,000

④ 地域における権利擁護体制の構築準備

かがわ後見ネットワークとの連携を強化、地域に必要な仕組みや組織づくり、ネットワーク体制の構築等について検討した。

(4) 人材育成等の取組

① 総合相談・支援担当者養成研修

重層的支援体制構築に向けた県後方支援事業 コミュニティソーシャルワーク研修として開催

② 香川おもいやりネットワーク事業施設・社協担当者等研修会(中讃圏域で実施)

- ・ 開催日 令和5年3月6日・22日
- ・ 場所 マルタス（丸亀市市民交流活動センター）多目的ホール2
- ・ 参加者 延べ30人
- ・ 講師 社会福祉法人正友会 事務局長 丸畑 望 氏
- ・ 内容

【1日目】

動画視聴「地域生活課題のとらえ方」
「地域共生社会とは何か」
演習Ⅰ「ニーズの発見とアセスメント」
全体発表・グループ振り返り・1日目のまとめ

【2日目】

演習Ⅱ「地域住民や関係機関との連携」
演習Ⅲ「協働による社会資源の開発」
全体発表、グループ振り返り、グループ内総括、研修のまとめ

(5) 関係機関・団体、専門多職種等との連携

行政・教育・医療機関や各相談機関等へ事業周知と連携強化に取り組んだ。

(6) 広報啓発活動

広報用のポスターを作成、配布した。

(7) 事業全体の運営

① 香川おもいやりネットワーク事業運営委員会の開催

- ・ 開催日 令和4年6月2日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター、オンライン
 - ・ 協議事項
 - ア 委員長・副委員長の互選について
 - イ 令和3年度の事業実施報告について
 - ウ 今後の取組みについて
 - ・ おもいやりネットワーク事業の今後のあり方について
 - ・ 認定事業実施要綱の一部変更について
 - ・ 事業広報活動について
- ② 香川おもいやりネットワーク事業運営委員会正副委員長会の開催
- ・ 開催日 令和4年12月8日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 協議事項
 - ア 事業活動について
 - 【県全体】
 - ・ 香川おもいやりネットワーク事業 広報活動について
 - ・ 研修事業、人材育成について
 - ・ 社会福祉法人セミナー（法人連携セミナー）について
 - 【市町圏域】
 - ・ 移動支援等や権利擁護の取組等施設人と連携した取組みについて
 - イ 実施体制について
- ③ 令和4年度 香川おもいやりネットワーク事業 全体研修会の開催
- ・ 開催日 令和4年7月8日
 - ・ 開催方法 オンライン
 - ・ 説 明
 - 「香川おもいやりネットワーク事業の取組みについて」
 - 説明 香川県社会福祉協議会
 - ・ 講 演
 - 「地域共生社会時代における社会福祉施設、社協の連携による福祉でまちづくり」
 - 講師 大橋 謙策 氏
 - 公益財団法人テクノエイド協会理事長
 - 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所所長
 - 香川おもいやりネットワーク事業運営委員会アドバイザー
 - ・ 参加者 71人
- ④ 社会福祉連携協働セミナーの開催
- ・ 開催日 令和5年2月8日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 内 容 シンポジウム「地域生活を支える社会福祉法人の取組」
 - <シンポジスト>
 - ・ 社会福祉法人 池田博愛会 法人本部副部長 岡 千賀子 氏
 - ・ 社会福祉法人 伯耆の国 理事長 山野 良夫 氏
 - ・ 社会福祉法人 同愛会 理事長 菊地 月香 氏

＜コーディネーター＞ 大橋 謙策 氏

公益財団法人テクノエイド協会理事長

特定非営利活動法人日本地域福祉研究所所長

香川おもいやりネットワーク事業運営委員会アドバイザー

- ・ 参加者 57人（社会福祉施設・社協役職員、民生委員児童委員、
県社協賛助会員等）

3 子どもの未来応援ネットワーク事業の実施

(1) 子どもの未来を応援する「支援の場」及び「サポーター」の調査・登録・管理

「支援の場」が必要とする「物・場・人」を提供できる人材・団体を調査・開拓し、「サポーター」として登録管理を行うとともに、県内で子どもの貧困対策に取り組む子ども食堂や学習支援の場、体験活動の場等を調査し、「支援の場」として登録管理を行った。

- ① 「サポーター」登録数：89人・団体（63個人、26団体）
- ② 「支援の場」登録数：94か所

(2) 子どもの未来を応援する「支援の場」と「サポーター」のマッチング、相談等への対応及び連携体制の確立

① 「支援の場」と「サポーター」のマッチング及び立ち上げ支援

子どもの未来を応援する「サポーター」と「支援の場」のマッチングを行うとともに、子どもへの支援活動に関する「支援の場」や「サポーター」からの相談等に対応した。

また、居場所づくりに関する冊子を活用しながら、「支援の場」づくりに関する相談への助言を行う等の立ち上げ支援を行った。

さらに、各地域や関係機関の連絡会等に参加し、市町行政、市町社会福祉協議会、民生委員・児童委員等の地域の相談・支援機関等の把握を行うとともに、連携体制の確立を図った。

ア 「サポーター等」と「支援の場」のマッチング数：746件

内、マッチング成立件数：745件（マッチング率99.9%）

イ 立ち上げ支援数：7件

(3) 子ども向け金銭教育ワークショップ開催の支援

子どもたちがお金に対する価値観やお金の使い方等について学ぶため、令和3年度に作成したプログラムを活用し、子ども食堂等の支援の場、市町社会福祉協議会等のイベント及び小中学校で、金銭教育のためのワークショップの実施又は実施のサポートを行った。

	対応	実施場所	対象	備考
1	ワークショップ の実施	さぬき市立長尾中学校	1年	さぬき市社協と共 同実施
2		さぬき市立さぬき南小学校	6年	
3		高松市社会福祉協議会 なごみちゃんまつり	参加者	

	対応	実施場所	対象	備考
4	サポート(プログラム説明、用具の貸出し等)	みの元気塾	小学生～中学生	三豊市社協が実施
5		みらスタ☆ティーンズ丸亀北教室	参加者	
6		高松市立鶴尾小学校	小学生	
7		丸亀市立岡田小学校	5年	
8		高松市立男木小・中学校	小学校4年～中学生	
9		あそび舎どんぐり	参加者	
10		高松市立玉藻中学校	3年	
11		三豊市立勝間小学校	5・6年	
12		多度津町立豊原小学校	6年	
13		観音寺市社会福祉協議会	小学生と保護者	観音寺市社協が実施
14		三豊市立詫間小学校	5年	
15		b&g まるがめ	小学生	
16		高松市立国分寺北部小学校	5・6年	
17		丸亀市立城乾小学校	5・6年	
18		高松市立中央小学校	6年	

(4)「香川子どもの未来応援情報ひろば」(子どもの未来を応援する「支援の場」と「サポーター」の情報掲載サイト)の運用管理

「支援の場」や「サポーター」の登録を促進するため、「香川子どもの未来応援情報ひろば」により、情報発信に取り組むとともに、円滑なマッチングが図られるよう「支援の場」や「サポーター」の情報を掲載した。

(サイトURL) <https://kagawaken-shakyo.com/>

(5) 子どもの貧困対策に係る地域ネットワークの連携強化

① 「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業 全体研修会」の開催

コロナ禍の影響により、子どもや子育て家庭の社会的孤立の深化が危惧される中、地域で子どもに関わる関係者が子どもの権利を守ることの意義を共有し、子どもの自立する力を育むために何ができるかを考え、今後のネットワークづくりにつなげることを目的に研修会を開催した。

- ・ 開催日 令和4年6月8日
- ・ 会場 かがわ国際会議場
- ・ 参加者 137人

(香川県子どもの未来応援ネットワーク登録者・団体(支援の場、サポーター)、市町社協職員、市町行政職員、主任児童委員、地域子育て)

て支援拠点職員、子育て世代包括支援センター職員、学校教職員（教員・スクールソーシャルワーカー等）等）

・ 内 容

- 行政説明「ヤングケアラー実態調査について」
- 講演「「ひとりにしない」という支援～伴走型支援とは何か～」

講師 認定特定非営利活動法人 抱樸 理事長 奥田 知志 氏

- ② 「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業 圏域別研修会・交流会」の開催
香川県子どもの未来応援ネットワークの登録者・団体を中心に、子どもの支援に関わる関係者同士がグループ討議や情報交換等を通して、身近な圏域において顔の見える関係を築くことで、それぞれの立場や役割の違いを知るとともに、子どもの支援におけるネットワークづくりに資することを目的に、県内を2圏域に分けて研修会・交流会を開催した。

ア 高松会場

開催日	令和5年2月22日
会場	サンメッセ香川
参加者	56人 対象市町：高松市・さぬき市・東かがわ市・三木町・直島町・土庄町・小豆島町 (香川県子どもの未来応援ネットワーク登録者・団体(支援の場、サポーター)、市町社協職員、市町行政職員、学校教職員(教員・スクールソーシャルワーカー等)、主任児童委員、地域子育て支援拠点職員、子育て世代包括支援センター職員 等)
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・説明「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業について」 ・実践発表「学校と子ども食堂との連携」 発表者：大篠子ども食堂 代表 窪田 理佳 氏 ・実践発表「子どもを真ん中においた地域のつながりづくり」 発表者：南国市立大篠小学校 教頭 彼末 健一 氏 ・グループ討議・情報交換 コーディネーター：香川スクールソーシャルワーカー協会 副会長 藤澤 茜 氏

イ 丸亀会場

開催日	令和5年2月22日
会場	丸亀市市民交流活動センターマルタス
参加者	63人 対象市町：丸亀市・坂出市・善通寺市・観音寺市・三豊市・宇多津町・綾川町・琴平町・多度津町・まんのう町 (香川県子どもの未来応援ネットワーク登録者・団体(支援の場、サポーター)、市町社協職員、市町行政職員、学校教職員(教員・スクールソーシャルワーカー等)、主任児童委員、地域子育て支援拠点職員、子育て世代包括支援センター職員 等)
内容	高松会場と同内容

- ③ 「香川県子どもの未来応援ネットワーク事業 支援の場研修会」の開催
令和3年度に実施した支援の場へのアンケート調査で、多くの支援の場が、活

動の継続に必要な運営費、食材及び人材の確保が課題であると回答し、その対応に負担を感じていることから、今後も安定して活動が継続できることを目的に、支援の場の資金調達についての研修会を開催した。

開催日	令和4年7月14日
会場	香川県社会福祉総合センター
内容	講義・ワークショップ「ファンドレイジングセミナー」 講師：認定特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センター・ むすびえ 理事 三島 理恵 氏

(6) 子どもの貧困対策に係る市町における連携体制構築の支援

地域における子どもの貧困対策を推進することを目的に、今後「地域子供の未来応援交付金」の活用を検討している又は最近利用し始めた2市へ訪問し、子ども食堂等を支援するにあたり、当該交付金の活用や市社協との連携などについてのヒアリングを行った。

- ・さぬき市【訪問日】：令和4年9月5日・観音寺市【訪問日】：令和4年10月14日

(7) 「支援の場」への応援助成の実施

企業又は個人の方から、子どもの育ちを支える地域づくりの推進のためにいただいた寄付金を財源に、子どもの支援に取り組む団体に対し、活動を安定的に継続するための経費の助成を行った。

- ① 助成件数：20団体 ② 助成金額：2,142,886円

4 地域における権利擁護支援体制整備に向けた取組

(1) 中核機関の機能充実にに向けた情報交換の場の設置や協議の実施及び改善の検討

① 県協議会における協議

弁護士会、司法書士会、社会福祉士会と行政、社協、家庭裁判所とで、県内における成年後見制度利用促進に関する意見交換会を行った。

- ・ 開催日 令和4年10月17日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 弁護士、司法書士、社会福祉士、社協職員、県市町職員、
家庭裁判所職員、県社協 職員 20人
- ・ 協議事項
 - 第二期基本計画を踏まえた県内の取組について
 - ・市町の体制整備等への支援の検討に向けて
 - ・担い手を確保・育成するための方針策定に向けて

② 権利擁護関係機関等連絡会

県内の権利擁護に関する現状と課題を共有し、各関係機関同士のネットワーク構築・強化を図った。

- ・ 開催日 令和4年11月24日
- ・ 場 所 香川県交際交流会館
- ・ 参加者 医師会、弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、県市町職員、

県市町社協職員、家庭裁判所、県警察、家族の会 59人

・ 内 容

○第二期基本計画および意思決定支援等に関するガイドラインの確認

○権利擁護支援や意思決定支援に関する現状と課題に関する意見交換

③ かがわ後見ネットワーク運営協議会における協議

弁護士会、司法書士会、社会福祉士会等の専門職団体、中核機関、家庭裁判所等の関係者で、県全体の仕組みや各市町の中核機関の整備・機能協強化等、権利擁護支援に関する協議を行った。

【第1回】

・ 開催日 令和4年4月27日

・ 場 所 香川県社会福祉総合センター

・ 参加者 弁護士、司法書士、社会福祉士、社協職員、県職員、
家庭裁判所職員、県社協職員 17人

・ 協議事項

○第二期成年後見制度利用促進基本計画について

○令和4年度のかがわ後見ネットワークの取組について

○その他

【第2回】

・ 開催日 令和4年7月13日

・ 場 所 香川県社会福祉総合センター

・ 参加者 弁護士、司法書士、社会福祉士、社協職員、県職員、
家庭裁判所職員、県社協職員 19人

・ 協議事項

○県内の権利擁護支援の課題と今後について

○未成年後見等子どもの権利について～ヤングケアラーの状況～

○その他

【第3回】

・ 開催日 令和5年1月23日

・ 場 所 香川県社会福祉総合センター

・ 参加者 弁護士、司法書士、社会福祉士、社協職員、県職員、
家庭裁判所職員、県社協職員 17人

・ 協議事項

○県内における今年度の実施状況及び今後の取組計画について

○その他

(2) 市町における権利擁護支援のための体制整備、機能強化に向けた連絡会等の開催

① 権利擁護中核機関等連絡会議

弁護士会、司法書士会、社会福祉士の専門職と県内の市町、社協等の権利擁護関係者による、各市町の情報共有や意見交換を行い、中核機関の機能強化に取り組んだ。

【第1回】

- ・ 開催日 令和4年6月29日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 弁護士、司法書士、社会福祉士、縣市町社協職員、縣市町職員 60名
- ・ 内 容
 - 報告事項
 - 第二期成年後見制度利用促進基本計画について
 - 県内の権利擁護の取組状況について
 - 協議事項
 - 中核機関等における取組と課題について
 - 令和4年度の研修等の実施について

【第2回】

- ・ 開催日 令和5年3月13日
- ・ 場 所 オンライン
- ・ 参加者 弁護士、司法書士、社会福祉士、縣市町社協職員、縣市町職員、家庭裁判所職員 61人
- ・ 内 容
 - 協議事項
 - 第二期基本計画を踏まえた取組みと課題について
 - 情報交換
 - 成年後見制度利用促進や中核機関の取組の中での成果等
 - 研修テーマについて
 - その他

② 市町社会福祉協議会権利擁護担当者会議

- ・ 開催日 令和5年2月28日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 縣市町社協職員 21人
- ・ 内 容 意見交換
 - 権利擁護支援に関する現状と課題、今後の取組について
 - その他

③市町等での協議への参加

市町	名称	日時・場所	内容
高松市	第1回高松市成年後見制度利用促進協議会	令和4年8月24日 福祉コミュニティセンター高松	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二期成年後見制度利用促進基本計画について ・ 受任調整会議について ・ 市民後見人について ・ 相談事例に基づく意見交換
	第1回高松市社協権利擁護センター運営委員会	令和4年8月24日 福祉コミュニティセンター高松	<ul style="list-style-type: none"> ・ 権利擁護センターの現状について ・ 見守りあんしんサポート事業について

市町	名称	日時・場所	内容
高松市	第2回高松市成年後見制度利用促進協議会	令和5年2月22日 福祉コミュニティセンター高松	<ul style="list-style-type: none"> ・R4年度相談内容について ・市民後見人について ・R5年度の予定 ・事例検討から支援を考える ・ポスター配布について
	第2回高松市社協権利擁護センター運営委員会	令和5年2月22日 福祉コミュニティセンター高松	<ul style="list-style-type: none"> ・高松市社会福祉協議会権利擁護センターの現状について ・見守りあんしんサポート事業について
丸亀市	第1回後見センターまるがめ中核機関打合せ会議	令和5年2月22日 ひまわりセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・丸亀市における相談、法人後見、市民後見、成年後見制度利用促進事業の状況について ・課題と今後の対応について
善通寺市	善通寺市成年後見地域連携推進協議会	令和5年2月16日 善通寺市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・第二期成年後見制度利用促進基本計画について ・善通寺市の取組状況について ・関係機関との連携、課題について
中讃西圏域(善通寺市、琴平町、多度津町、まんのう町)	成年後見制度利用促進における中讃西圏域での人材育成打ち合わせ会議	令和4年5月24日、8月17日、10月24日、11月29日、12月26日、令和5年1月25日、2月20日 善通寺市役所、善通寺市総合会館	<ul style="list-style-type: none"> ・中讃西圏域での人材育成及び情報共有 ・R4権利擁護サポーター養成研修について ・R5市民後見人養成研修について
さぬき市 東かがわ市	権利擁護関係機関圏域連絡会議	令和4年9月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の取組について ・今後に向けて
	権利擁護支援体制整備に係る勉強会	令和5年1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護支援における対人援助技術
三豊市	令和4年度三豊市成年後見制度利用促進審議会	令和4年10月20日 三豊市役所危機管理センター	<ul style="list-style-type: none"> ・第二期成年後見制度利用促進基本計画について ・三豊市における取組状況について ・関係機関との連携について
	受任調整会議	令和4年4月22日、8月8日 三豊市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討
土庄町・小豆島町	令和4年度成年後見制度利用促進研修会	令和4年12月6日 オンライン(20事業所51名)	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度のタイミングとその方に合った提案
	土庄町社協・小豆島町社協意見交換会	令和5年3月1日 土庄町社協	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり物の返還について ・法人後見の実施について
土庄町	土庄町成年後見制度利用促進協議会	令和5年3月27日 オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ・土庄町における取組状況について ・死後事務委任について ・その他
小豆島町	成年後見利用促進協議会	令和4年11月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携ネットワークについて ・個別事例ケース検討 ・その他

市町	名称	日時・場所	内容
三木町	受任調整会議	令和4年8月2日、 12月20日 三木町役場	・事例検討
	第1回成年後見制度利用促進ネットワーク会議	令和4年9月27日 三木町役場	・三木町成年後見センターの取組内容について ・法人後見・日常生活自立支援事業の実施状況について ・今後の予定について ・その他
	第2回成年後見制度利用促進ネットワーク会議	令和5年2月14日 三木町役場	・三木町成年後見センターの取組内容について ・今後の予定について
綾川町	綾川町成年後見制度中核機関検討会議	令和4年12月23日 綾川町社協	・中核機関について ・県内の状況について ・包括、社協の取組について 等
宇多津町	令和4年度「市民後見人養成講座フォローアップ研修」	令和5年1月25日 宇多津町役場西館	・地域包括支援センターの役割と高齢者福祉 ・成年後見制度利用促進基本計画の概要 ・市民後見人実践研修について ・意見交換会
琴平町	琴平町成年後見利用促進協議会	令和4年4月14日、5月12日、6月9日、8月18日、10月20日、12月8日、令和5年2月13日 琴平町社会福祉協議会	・第二期成年後見制度利用促進基本計画について ・個別ケース検討について ・申立手続きについて ・広報について
多度津町	多度津町地域サポートネットワーク会議	書面で開催	・令和3年度部会報告 ・ひきこもりサポート会議の新設について ・令和4年度実施事業について ・その他
まんのう町	まんのう町成年後見制度利用促進協議会	令和4年5月19日 まんのう町役場	・まんのう町の利用促進体制について ・令和3年度取組報告 ・令和4年度計画について ・地域課題について
	まんのう町成年後見制度利用促進協議会第1回実務者会	令和4年6月13日 まんのう町役場	・個別ケース検討
	まんのう町成年後見制度利用促進協議会第2回実務者会	令和4年9月7日	・個別ケース検討
	まんのう町成年後見制度利用促進協議会第3回実務者会	令和4年11月7日	・個別ケース検討
家庭裁判所	家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	令和4年11月4日 高松家庭裁判所	・意見交換

(3) 研修会・講演会の開催、権利擁護に関する人材育成研修事業の実施

① 市町長申立てに関する研修の開催

第二期基本計画を確認するとともに、市町長申立ての適切な実施に向けて、参加者の12事例を基に検討した。

- ・ 開催日 令和4年8月31日
- ・ 場 所 香川県薬剤師会館
- ・ 参加者 縣市町職員、縣市町社協職員、弁護士、司法書士、社会福祉士 55人
- ・ 内 容

ア 基調説明「第二期成年後見制度利用促進基本計画について」

説明 厚生労働省 社会援護局 地域福祉課

成年後見制度利用促進専門官 川端 伸子 氏

イ 事例報告・協議

アドバイザー 厚生労働省 社会援護局 地域福祉課

成年後見制度利用促進専門官 川端 伸子 氏

進行 三豊市 介護保険課 社会福祉士 細川 良士 氏

② 意思決定支援に関する研修の開催【意思決定支援セミナー】

- ・ 開催日 令和5年3月7日
- ・ 場 所 香川県薬剤師会館
- ・ 参加者 高齢福祉・障害福祉・児童福祉従事者、縣市町職員、縣市町社協職員、弁護士 59人

・ 内 容

○シンポジウム「成年後見人の活動における意思決定支援とは」

シンポジスト

・ 船井社会福祉士事務所 代表 船井 康雄 氏

・ 一般社団法人 ええる福社会 代表理事 徳永 実 氏

・ 有明法律事務所 弁護士 秋月 智美 氏

コーディネーター

四国学院大学 社会福祉学部 教授 西谷 清美 氏

③ 中讃西権利擁護サポーター養成研修（セミナー）

- ・ 開催日 令和4年8月17日
- ・ 場 所 善通寺市役所
- ・ 参加者 43人
- ・ 内 容 講演「『私らしく生きるために今できること』を考える」
講師 弁護士 秋月 智美 氏

④ 中讃西権利擁護サポーター養成研修

【1日目】

- ・ 開催日 令和4年10月31日
- ・ 場 所 善通寺市役所
- ・ 参加者 32人
- ・ 内 容 ①講義「成年後見制度とは」

講師 弁護士 松本 タミ 氏

②市民後見人活動報告

報告者 丸亀市 市民後見人 宇野 ひろみ 氏
丸亀市社会福祉協議会 三谷 幸代 氏
坂出市 市民後見人 竹田 一左絵 氏
坂出市社会福祉協議会 吉田 典子 氏

【2日目】

- ・ 開催日 令和4年11月7日
- ・ 場 所 善通寺市役所
- ・ 参加者 32人
- ・ 内 容 講義「対象者の理解と支援の際に心がけることについて」
(認知症、障害者等について)

講師 しょうがい者生活支援センターふらっと 大西 史訓 氏
香川県社会福祉士会 社会福祉士 船井 康雄 氏

(4) 専門職による権利擁護支援体制の強化

弁護士・司法書士・社会福祉士等の専門職による相談会や、講師派遣、地域担当制を導入し、市民後見人及び監督人等の抱える相談に応じた。また、市町や中核機関等が実施するケース会議や協議会に専門職の派遣調整を行った。

- ① 無料相談会 13件
- ② 講師派遣 16件
- ③ 地域担当制 20件

5 「高齢者いきいき案内所」の運営

(1) 生きがい活動ガイド（コーディネーター）の配置

コーディネーターを1名配置し、企画・運営及び連絡調整等を実施した。

(2) 「高齢者いきいき案内所」相談等業務

① 相談及びマッチング

活動の場を求める高齢者、活動者を求める施設等からの相談に対応するとともに、高齢者と活動の場とのマッチングを行った。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開設後累計
相談件数	高齢者本人	26	17	26	22	21	17	21	12	14	23	14	17	230	2,233
	団体等	3	0	2	4	2	2	1	1	2	1	0	1	19	427
	その他※1	35	35	42	24	19	26	18	22	16	15	20	43	315	2,611
	計	64	52	70	50	42	45	40	35	32	39	34	61	564	5,271

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開設後累計
紹介 件 数	ボランティア	25	14	27	14	14	16	7	15	11	13	14	29	199	1,732
	地域交流	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	170
	趣味	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19
	健康づくり	6	5	11	11	12	6	4	3	4	10	6	10	88	457
	その他※2	6	23	15	13	7	9	17	4	6	8	2	3	113	948
	計	37	43	53	38	33	32	28	22	21	32	22	42	403	3,326

また、各市町及び各市町社会福祉協議会職員の相談への対応及び助言を行った。

※1 県、市町、親族、ケアマネ、60才未満

※2 住民参加型、シルバー人材、NPO

② 高齢者人材バンクの設置、登録・管理

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開設後累計
登録 件 数	個人	1	14	6	8	2	4	4	6	5	2	1	1	54	551
	団体	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	94
	計	1	14	7	8	2	4	5	7	5	2	1	1	57	645
紹介 件 数	個人	8	5	1	2	0	10	3	1	2	0	1	1	34	255
	団体	1	1	4	0	1	0	0	1	1	0	0	0	9	281
	計	9	6	5	2	1	10	3	2	3	0	1	1	43	536

③ 高齢者の活動の場の調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開設後累計
登録件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	697

(3) 「高齢者いきいき案内所」の周知

- ① 高齢者の活躍の場のサイト(生きがい情報ひろば)や公式LINEを通じて情報発信し、講座の案内や活動の場や人材バンクについての周知を行った。

【ホームページアクセス件数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
HPアクセス 件数	18,330	13,743	18,884	10,050	11,978	5,897	11,022
月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開設後累計
HPアクセス 件数	6,390	4,249	5,711	5,509	5,422	117,185	1,851,745

【LINE配信件数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度累計	開始後累計
LINEメッセージ配信件数	1	0	2	0	3	0	0	2	0	0	1	1	10	32
配信件数	142	0	290	0	444	0	0	290	0	0	145	144	1,455	4,068

② 関係機関・団体、企業等への周知

かがわ長寿大学等、関係機関団体等の研修会・講演会等でパンフレット等を配付し、「高齢者いきいき案内所」の説明・周知を行った。また、高齢者いきいき案内所季刊誌「生き生き」を4回発行し、市町社会福祉協議会、社会福祉法人、地元商業施設等へ配付し、活動内容の周知や利用促進に務めた。

(4) 養成講座及び交流会等の実施

人材バンク登録者や各種講座の受講者へ呼びかけ、活動状況の報告や学習の場を提供した。また、市町及び市町社会福祉協議会の職員が、地域活動などへの参加を希望する高齢者の相談を受け、「生きがい情報ひろば」に登録する新たな地域資源の情報収集や活用したり、活動の場を実際に見学することにより、「高齢者いきいき案内所」の役割を理解し、周知やマッチングに活かすことができるように、交流会や各種研修会を企画、実施した。

① 交流会の実施

「高齢者いきいき案内所」人材バンク登録者交流会「きらりんぐ」や大人のための読み聞かせ会を開催し、情報交換等を行った。

ア 交流会「きらりんぐ」

(人)

回	開催日	場 所	内 容	定員	参加
第1回	令和4年 5月16日	丸亀市	南海トラフ地震がきたらどうする？ 災害シミュレーションゲームを体験してみよう	10	9
第2回	6月15日	高松市	讃岐おもちゃ美術館へいこう	15	8
第3回	7月19日	高松市	テキストを使ってから健康マージャンを楽しもう！	20	18
第4回	9月16日	高松市	リラクゼーション体験	15	11
第5回	10月17日	高松市	映画「帰ってきまい」鑑賞会	20	7
第6回	11月22日	多度津町	ポッチャ体験	15	11
第7回	12月14日	高松市	しめかざりづくり	15	5
第8回	12月21日	丸亀市	しめかざりづくり	15	7
第9回	令和5年 1月13日	高松市	VR体験	10	10
第10回	2月14日	丸亀市	エンディングノート+お試し遺影撮影会	10	10

イ 大人のための読み聞かせ会

(人)

回	開催日	場 所	読み手 (グループ)	定員	参加
第1回	令和4年 4月4日	高松市	絵本読み聞かせほのぼの	15	19
第2回	7月27日	高松市	絵本を楽しむ会ふくふく	15	11
第3回	9月20日	高松市	絵本を楽しむ会ふくふく	15	13
第4回	10月31日	高松市	SUN ババちゃん	15	15
第5回	12月1日	高松市	SUN ババちゃん	15	13
第6回	12月23日	高松市	絵本読みグループよもよも会	15	14
第7回	令和5年 1月30日	高松市	絵本読み聞かせほのぼの	15	19
第8回	2月28日	高松市	絵本読みグループよもよも会	15	15

② 講座等の開催

ア-1 傾聴ボランティア養成講座

講師：グリーンワークかがわ 青井 恵子氏 池島 邦夫 氏

さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」代表 山本 隆夫 氏 (人)

開催日及び会場		定員	参加人数	登録者※
高松会場 (前期)	開催日：令和4年5月18日、19日 会 場：香川県社会福祉総合センター	15	15	10
東かがわ会場	開催日：令和4年7月20日、21日 会 場：東かがわ市交流プラザ	15	14	2
高松会場 (後期)	開催日：令和4年9月21日、22日 会 場：香川県社会福祉総合センター	15	10	3
宇多津会場	開催日：令和4年11月16日、17日 会 場：あみのうら交流センター	15	11	5

※登録者は、参加人数の内、高齢者いきいき案内所の高齢者人材バンクに既に登録している方、講座後に新たに登録した方を含んだ人数を掲載。

ア-2 傾聴ボランティア勉強会

(人)

回数	開催日及び会場	講師	定員	参加
1	開催日：令和4年7月6日 会 場：香川県社会福祉総合センター	さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」代表 山本 隆夫 氏	15	6
2	開催日：令和4年9月7日 会 場：香川県社会福祉総合センター	さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」代表 山本 隆夫 氏	6	8
3	開催日：令和4年12月6日 会 場：香川県社会福祉総合センター	かがわ総合リハビリテーション福祉センター 篠原智代 氏	15	8
4	開催日：令和5年1月18日 会 場：香川県社会福祉総合センター	さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」代表 山本 隆夫 氏	10	10

イ 読み聞かせボランティア養成講座

講師：香川短期大学付属図書館司書 藤原 まゆみ 氏

朗読グループどんぐり代表 池田 陽子 氏

(人)

開催日及び会場		定員	参加人数	登録者※
高松会場 (前期)	開催日：令和4年4月13日、14日 会場：香川県社会福祉総合センター	15	12	11
東かがわ会場	開催日：令和4年6月13日、14日 会場：東かがわ市交流プラザ	15	5	1
宇多津会場	開催日：令和4年10月19日、20日 会場：あみのうら交流センター	15	12	4
高松会場 (後期)	開催日：令和4年12月7日、8日 会場：香川県社会福祉総合センター	15	13	4

※登録者は、参加人数の内、高齢者いきいき案内所の高齢者人材バンクに既に登録している方、講座後に新たに登録した方を含んだ人数を掲載。

ウ 読み聞かせボランティア養成講座修了者発表会

会場及び開催日	
高松会場 (前期)	開催日：令和4年4月27日、28日 会場：アトリエロッタ 開催日：令和4年5月11日、12日 会場：本屋ルヌガンガ
東かがわ会場	開催日：令和4年7月7日 会場：東かがわ市交流プラザ
宇多津会場	開催日：令和4年11月2日、9日 会場：南部すくすくスクエア
高松会場 (後期)	開催日：令和4年8月2日 会場：本屋ルヌガンガ 開催日：令和4年8月2日、4日 会場：アトリエロッタ

エ 読み聞かせプログラム作り勉強会

- ・ 開催日 令和4年5月9日
- ・ 会場 香川県社会福祉総合センター
- ・ 講師 香川短期大学付属図書館司書 藤原 まゆみ 氏
- ・ 定員 12人 参加人数：10人

オ 絵本講座「原画鑑賞及び絵本紹介」

- ・ 開催日 令和4年11月30日
- ・ 会場 のぞみ幼稚園
- ・ 講師 のぞみ幼稚園 樫村 文夫 氏
- ・ 定員 5人 参加人数 5人

カ 緊張しない絵本の読み方講座

講師 コキカル 主宰 桐子 カヲル 氏

【高松会場】

- ・ 開催日 令和5年2月2日
- ・ 会場 香川県社会福祉総合センター
- ・ 定員 10人 参加人数 10人

【丸亀会場】

- ・ 開催日 令和5年2月22日
- ・ 会場 ユープラザうたづ
- ・ 定員 10人 参加人数 5人

キ 読み聞かせボランティア養成講座受講者のための絵本勉強会「絵本の扉」

講師：本屋ルヌガンガ書店員

おもちゃと絵本の店ウーフ書店員

会場及び開催日		定員	参加人数
本屋ルヌガンガ	令和4年 5月16日	10	4
	7月11日	10	9
	9月12日	10	9
	11月14日	10	8
おもちゃと絵本の店 ウーフ	令和4年 4月13日	8	6
	7月13日	8	3
	10月26日	8	2
	令和5年 2月15日	8	3

(5) 読み聞かせボランティア出張活動

読み聞かせボランティア養成講座修了者の新たな活動の場として、児童のいる家庭や子育て支援の居場所に訪問し、読み聞かせボランティア活動をする出張活動を新たにコーディネートした。

- ・登録ボランティア 25人
- ・活動先 2カ所

(6) ボッチャ部の活動支援

部員 21人 (男性5人 女性16人)

ア 練習開催

会場及び開催日		参加人(人)
令和4年 4月11日	香川県社会福祉総合センター	10
5月11日		7
6月1日		9
7月11日		9
8月1日		8
9月1日		8
10月11日		12

会場及び開催日		参加人数(人)
11月11日	香川県社会福祉総合センター	9
12月1日		7
令和5年1月11日		7
2月1日		8
3月1日		8

イ 交流大会等への出場

【第11回香川県ボッチャ交流大会】

- ・ 開催日 令和4年6月12日
- ・ 会場 かがわ総合リハビリテーション福祉センター体育館
- ・ 参加 3人

【第33回県民スポーツ・レクリエーション祭ボッチャ交流】

- ・ 開催日 令和4年11月23日
- ・ 会場 宇多津町立宇多津北小学校体育館
- ・ 参加 8人

【香川大学附属高松小学校のプロジェクトチームが企画するボッチャ交流】

- ・ 開催日 令和4年7月5日
- ・ 会場 香川国際交流会館アイパル香川
- ・ 参加 8人

ウ 多世代交流の実施

【第1回】

- ・ 開催日 令和4年12月27日
- ・ 会場 県社会福祉総合センター
- ・ 参加 ボッチャ部 8人 小学生 10人 保護者等 8人

【第2回】

- ・ 開催日 令和5年3月28日
- ・ 会場 県社会福祉総合センター
- ・ 参加 ボッチャ部 7人 小学生 7人 保護者等 5人

6 香川県民生委員児童委員協議会連合会の事務局運営及び民生委員・児童委員活動との連携・協働

(1) 単位民児協会長・副会長研修会

- ・ 開催日 令和5年1月24日、1月26日、1月27日
- ・ 場所 高松商工会議所、綾歌総合文化会館アイレックス、
観音寺市立中央図書館
- ・ 参加者 単位民児協会長 95人
単位民児協副会長・民生委員 169人
民児協事務局、市町社協職員 12人
合計 276人

・ 内 容

○講義（動画）

「単位民児協会長・副会長の心構えと役割」

講師 高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科
教授 金井 敏 氏

○グループ討議・情報共有

「単位民児協会長・副会長の役割について」

(2) 単位民児協会副会長・中堅民生委員児童委員研修会

- ・ 開催日 令和4年8月30日、9月1日
- ・ 場 所 高松商工会議所、綾歌総合文化会館アイレックス
- ・ 参加者 単位民児協会副会長 97人
中堅民生委員・児童委員 77人
単位民児協会長 10人
民児協事務局、市町社協職員 15人
合計 199人

・ 内 容

○活動報告（動画）

「令和3年度 第90回全国民生委員児童委員大会活動交流集会」より

※映像提供元：全国民生委員児童委員連合会

「子育て、子育てを応援する地域づくり」

京都市中京区民児協 理事 神谷 広美 氏

京都市主任児童委員連絡会 会長 林 実紀 氏

「住民参加で支えあうまちづくりと民生委員・児童委員活動
～地域の力の機織り事業～」

奈良県生駒市南地区民児協 会長 松嶋 千年 氏

「民生委員・児童委員活動を支える民児協機能の強化」

京都府長岡京市民児協 会長 福増 久美子 氏

○グループ討議

(3) 主任児童委員研修会

① 主任児童委員研修会（全員研修）

- ・ 開催日 講義（配信期間）令和4年6月1日～令和4年6月30日
グループ討議 令和4年7月6日、7月8日、7月12日
- ・ 場 所 講義視聴 各市町民児協または委員個人宅
グループ討議 高松商工会議所
綾歌総合文化会館アイレックス、
三豊市市民交流センター
- ・ 参加者 主任児童委員 183人
単位民児協会長 88人
民児協事務局、市町社協職員 19人
合計 290人

- ・ 内 容
 - 講義（オンデマンド）
 - 「“地域の灯台”をめざそう！
 - ～主任児童委員の役割をあらためて考える～
 - 講師 合同会社 泉恵造研修企画工房
 - 代表社員 泉 恵造 氏

○グループ討議

② 主任児童委員スキルアップ研修会

- ・ 開催日 講義（配信期間） 令和4年8月22日～令和4年9月30日
 - グループ討議 令和4年9月29日、9月30日
- ・ 場 所 講義視聴 各市町民児協または委員個人宅
 - グループ討議 レクザムホール
 - 綾歌総合文化会館アイレックス
- ・ 参加者 主任児童委員 158人
 - 単位民児協会長 77人
 - 児童委員 6人
 - 民児協事務局、市町社協職員 19人
 - 合計 260人

- ・ 内 容
 - 講義（オンデマンド）
 - 「発達障がいのある子どもとその家庭への支援」
 - 講師 香川大学教育学部教授/香川大学バリアフリー支援室長/
香川大学附属坂出小学校長・香川大学附属幼稚園長
 - 坂井 聡 氏

○グループ討議

(4) ブロック別民生委員児童委員研修会

市または各ブロック別にブロック別民生委員児童委員研修会を実施した。

(実施日と内容)

ブロック	開催日等	内 容
高松		新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催中止
丸亀	令和5年2月14日 丸亀市生涯学習センター 参加者 168人	講演「コロナ危機を乗り越えて信頼を贈り合う社会の共生」 講師 香川大学 地域人材共創センター 特命講師 長尾 敦史 氏 人権研修「性的少数者についての理解を深める」 講師 丸亀市人権・同和教育指導員 平田 貴久 氏 説明「香川おもいやりネットワーク事業について」 説明者 香川県社会福祉協議会 事務局長 日下 直和

ブロック	開催日等	内 容
坂出	令和4年7月26日 坂出グランドホテル 参加者118人	講演「自殺予防の基礎を学ぶ～自殺予防のために私たちができること～」 講師 香川県精神保健福祉センター 大森 小百合 氏 事例発表 「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」 与島地区民生児童委員協議会 宮崎 高野 氏 「民生委員活動に伴う生活困窮世帯と障がい者支援について」 松山地区民生児童委員協議会 三谷 澄子 氏 「生活困窮家庭への支援と民生委員・児童委員活動」 金山地区民生児童委員協議会 三好 學 氏
善通寺	令和5年2月13日 旧善通寺市偕行社 参加者64人	人権研修 DVD視聴「家庭から振り返る人権 話せてよかった」 講演・グループワーク 「民生委員・児童委員の活動環境整備について～チームで取り組む民生委員・児童委員活動～」 講師 日本福祉大学社会福祉学部教授 小松 理佐子 氏
観音寺	令和5年2月28日 ハイスタッフホール 参加者143人	講義「医療や介護が必要になっても地域で暮らし続けるために」 講師 観音寺市地域包括支援センター 大平 朋美 氏 人権研修 DVD視聴「シェアしてみたらわかったこと」
さぬき	令和5年1月11日～ 2月21日（6回実施） 津田保健センター、 さぬき市大川公民館、 志度社会福祉センター、 さぬき市寒川庁舎、 辛立文化センター、 源内音楽ホール 参加者138人	【各単位民児協研修】 人権研修「身近にある人権について考える」 さぬき市市民部人権推進課 山田 謙二 氏 今井 真裕美 氏 さぬき市教育委員会事務局学校教育課 松原 伸二 氏 【全体研修】 講演「高齢者が安心して暮らし続けることができる地域づくり」 講師 正行寺（東かがわ市）住職 赤松 円心 氏
東かがわ	令和5年1月19日～ 24日（3回実施） 東かがわ市交流プラザ、 東かがわ市引田公民館 参加者90人	説明「個人情報取り扱いについて」東かがわ市総務課 「証明事務について」東かがわ市子育て支援課 人権研修 DVD視聴「家庭の中の人権 生まれ来る子へ」 講義「障がい者が生活しやすい地域づくり 精神障がい者の現状と支援制度について」 講師 東かがわ市福祉課 副主幹 蓮井 康則 氏

ブロック	開催日等	内 容
三豊	令和4年9月12日 三豊市文化会館マリ ンウェーブ 参加者 147人	講演「三豊市内における子どもの居場所の現状について」 講師 三豊市社会福祉協議会 上村 早紀子 氏 特定非営利活動法人ひまわりひまわりるーむ 理事長 林 あつ子 氏 特定非営利活動法人子育て応援 NPO フレンズ 理事長 片野 牧 氏
小豆	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催中止	
中讃	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により開催中止	

(5) 香川県新任民生委員児童委員研修

① 香川県新任民生委員・児童委員委嘱状交付式並びに研修会

- ・ 開催日 令和4年12月5日
- ・ 場 所 レクザムホール
- ・ 参加者 新任民生委員 531人
民児協事務局ほか 28人
合計 559人
- ・ 内 容
 - 行政説明「民生委員・児童委員の職務、活動記録について」
香川県健康福祉部 健康福祉総務課
課長補佐 横関 美幸 氏
 - 講義「民生委員・児童委員の心構えについて」
講師 香川県民生委員児童委員協議会連合会
前会長 藤目 真皓 氏

② 香川県新任民生委員児童委員研修会

- ・ 開催日 令和5年3月7日、3月8日
- ・ 場 所 レクザムホール、綾歌総合文化会館アイレックス
- ・ 参加者 新任民生委員 565人
単位民児協会長 13人
民児協事務局、市町社協職員 21人
合計 599人
- ・ 内 容
 - 行政説明「高齢者の消費者被害について」
香川県消費生活センター 所長 秋山 徳光 氏
 - 講演「これからの民生委員・児童委員に期待される役割
～生き活きと活躍できる組織運営を～」
講師 同志社大学名誉教授
大阪市ボランティア・市民活動センター所長
上野谷 加代子 氏

1-3 市町社協との連携・協働による地域福祉の推進

(1) ニーズ対応型社協活動の実践と第3次アクションプランの策定

① 市町社協・県社協の連携強化と社協経営に関する協議の実施
ア 市町社協常務理事・事務局長等会議の開催

【第1回】

- ・ 開催日 令和4年12月15日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 32人
- ・ 内 容
報告・説明
 - コロナ特例貸付の今後の対応について
 - ・ 償還免除及び償還猶予の取扱いについて
 - ・ 特例貸付にかかる償還免除申請状況
 - ・ 償還開始のお知らせ
 - ・ 借受人へのフォローアップ支援について
 - ・ 生活福祉資金債権管理業務の業務内容として
 - ・ 自立相談支援機関として求められている対応について
 - ニーズ対応型社協活動次期計画の策定について
 - 香川おもいやりネットワーク事業について
 - その他

意見交換

【第2回】

- ・ 開催日 令和5年2月21日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 28人
- ・ 内 容
 - 行政説明
 - 1 ひきこもり対策について
 - 2 心のケアLINE相談について
香川県健康福祉部障害福祉課 副課長 水永 淳 氏
 - 報告・説明
 - 1 各市町社協の令和5年度の取組みについて
 - 2 コロナ特例貸付の今後の対応について
 - 3 ニーズ対応型社協活動次期計画について
 - 4 香川おもいやりネットワーク事業について
 - 5 県内社協災害時支援協定の見直しについて
 - 6 その他

○質疑応答・全体協議

イ 県内社協実践研究大会（第9回）の開催

- ・ 開催日 令和5年1月20日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター

- ・ 参加者 88 人（会場参加 36 人、オンライン 52 人）
- ・ 内 容

○各社協実践研究発表

県内全社協がニーズ対応型社協の実践発表

○総括講演 「これからの地域福祉の展開と社協の役割」

講師 日本地域福祉研究所理事長 理事長 大橋 謙策 氏

ウ 地域福祉推進委員会の開催

回数	開催日	協議内容
第 1 回	令和 4 年 7 月 1 日	(1) ニーズ対応型社協活動第 3 次アクションプランの内容と今後の進め方について ①第 2 次アクションプランに基づく実践の評価について ②第 3 次アクションプランの全体の方向性について ③社協組織経営・人材育成について (2) その他
第 2 回	11 月 17 日	(1) ニーズ対応型社協活動第 3 次アクションプラン（仮称）について (2) 香川おもいやりネットワーク事業の今後の取組みについて (3) 権利擁護の取組について (4) その他

エ 企画委員会等の開催

会議	開催日	協議内容
企画委員会・ 企画委員会テ ーマ別協議合 同会議	令和 4 年 4 月 25 日	(1) 説明 委員会等の位置付けやこれまでの協議内容、第 3 次アクションプラン（仮称）の内容について (2) 全体協議 (3) テーマ別協議（災害、経営・人材育成、活動の 3 テーマ） (4) その他
テーマ別協議 リーダー会	5 月 27 日	第 3 次アクションプラン（仮称）について
第 1 回	6 月 17 日	(1) 各テーマ別協議での議論について (2) 第 3 次アクションプラン（案）の内容と今後のスケジュールについて (3) その他
テーマ別協議 【災害①】	7 月 29 日	災害時支援協定におけるガイドラインについての協議
第 2 回	9 月 22 日	(1) 第 3 次アクションプラン（案）の内容について (2) その他
テーマ別協議 【災害②】	9 月 29 日	災害時支援協定におけるガイドラインについての協議

会議	開催日	協議内容
次期計画等に関する説明会	10月4日	【説明及び協議】 ・次期計画の内容について ・各社協の強化発展計画の見直しについて ・県内社協実践研究大会について
第3回	10月14日	(1)第3次アクションプラン（案）の内容について ○県内社協地域福祉推進委員会アドバイザー 日本地域福祉研究所理事長 大橋 謙策 氏 (2)その他
テーマ別協議 【活動①】	11月14日	(1)協議内容 第3次アクションプラン（案）について 【具体的な取組について】 ・生活困窮者自立相談支援事業と生活福祉資金からみる仕組みづくりと地域づくり ・権利擁護の仕組みづくり (2)今後の進め方について
テーマ別協議 【活動②】	12月16日	(1)権利擁護支援の仕組みについて ① 日常生活自立支援事業における返還先のない預かり物の取扱いについて ② 権利擁護支援モデル事業（仮）について (2)生活福祉資金特例貸付借受人への生活困窮者支援について
第4回	令和5年 2月1日	(1)第9回県内社協実践研究大会の振り返りと次年度の実施に向けて (2)第3次アクションプラン（案）の内容について (3)その他

② 人材確保・育成の取組と研修等の実施方法の検討

ア 社協職員基礎研修の開催

- ・ 開催日 令和4年5月12日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 34人
- ・ 内 容

○講義1「社協の基本的理解と新任職員への期待」

講師 香川県社会福祉協議会事務局長兼地域福祉部長 日下 直和

○ワールド・カフェ「めざす社協職員の姿について」

話題提供 県内社協次世代育成研修（アライアンスセミナー） 受講者

山地 春圭 氏（坂出市 社会福祉協議会 地域福祉係主事）

工藤 良太 氏（東かがわ市社会福祉協議会 地域福祉推進係主事）

筒井 祐輝 氏（観音寺市 社会福祉協議会 総務課主事）

○まとめ 講師 越智 和子 氏（県内社協地域福祉推進委員会 委員長、

琴平町社会福祉協議会 会長)

イ 社協職員次世代育成研修（アライアンスセミナー後期分）の開催

- ・ 開催日 令和4年4月18日・19日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 13人
- ・ 内 容

【1日目】

演習・講義① 問題解決プログラムとソーシャルサポートネットワークづくり

【2日目】

演習・講義② 問題解決プログラムとソーシャルサポートネットワークづくり

講義 社会福祉協議会組織論②

講師 特定非営利活動法人日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏

ウ 社協常務理事・事務局長等セミナーの開催

- ・ 開催日 令和4年11月11日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 20人
- ・ 内 容

○報告・意見交換

「各社協経営における現状と課題について」

①実践報告（1か所）

②事前アンケート（組織体制、実施事業、財務状況）集計結果をもとに
意見交換

講師 香川県県内社会福祉協議会地域福祉推進委員会アドバイザー

日本社会事業大学 名誉教授

特定非営利活動法人日本地域福祉研究所

理事長 大橋 謙策 氏

○特別対談 「地域共生社会政策における社協の役割を考える

～社協活動と地域福祉論の継承と発展～」

・元全国社会福祉協議会 事務局長

ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明 氏

・日本社会事業大学 名誉教授

日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏

③ 県社協地域担当制の取組強化

令和4年度中に開催された各市町社協が実施する会議等へ事業担当とともに地区担当の職員も参加した。（延べ回数 年間36回）

④ 関係会議・研修の実施協力

ア 令和4年度 第27回地域福祉実践研究セミナーin愛媛・いまばり 第19回四国地域福祉実践セミナーin愛媛・いまばり 第7回いまばり地域福祉フォーラム（特別分科会）

- ・ 開催日 令和4年8月26日
- ・ 場 所 オンライン／香川県社会福祉総合センター

・ 内 容

○対 談『社協活動の回顧から未来への地域福祉の展望を語る』

－社協活動の発展と理論形成の過程を垣間見る－

元全国社会福祉協議会事務局長 ルーテル学院大学名誉教授 和田 敏明 氏

日本社会事業大学名誉教授 日本地域福祉研究所理事長 大橋 謙策 氏

進 行 元全国社会福祉協議会常務理事 渋谷 篤男 氏

○シンポジウム

「社協 ～新たな時代への挑戦～」

富山県氷見市社会福祉協議会 事務局次長 森脇 俊二 氏

宮崎県都城市社会福祉協議会 事務局長 大田 勝信 氏

佐賀県社会福祉協議会 まちづくり課 副課長 小松 美佳 氏

イ 四国ブロック県市町村社協事務局女性リーダーの集い（仮）

・ 開催日 令和5年2月9日・10日

・ 場 所 香川県社会福祉総合センター

・ 参加者 15人

・ 内容 実践報告、ワールドカフェ

講師 日本地域福祉研究所 理事長 大橋 謙策 氏

2 災害福祉支援ネットワークの構築

1 災害福祉支援ネットワーク構築事業の実施

今年度は、香川県災害福祉支援ネットワーク会議1回と6回の研修や訓練を実施し、施設関係団体・職能団体等から推薦された香川県災害派遣福祉チーム員（支援隊）を養成した。

（1）会議の開催状況

香川県災害福祉支援ネットワーク協議会

・ 開催日 令和4年8月3日

・ 場 所 香川県社会福祉総合センター

・ 協議事項 ①令和3年度事業報告について

②令和4年度事業計画・予算（案）について

③香川 DWAT の研修等について

④災害対応力向上のための研修等について

⑤その他

・ 講 演 「群馬県災害派遣福祉チーム（ぐんま DWAT）の取り組みについて」

講師 群馬県社会福祉協議会 災害福祉支援センター

センター長 鈴木 伸明 氏

（2）研修会の開催状況

① 香川県災害派遣福祉チーム〔香川 DWAT〕先遣隊 スキルアップ研修

・ 開催日 令和4年9月29日

- ・ 開催方法 オンライン
 - ・ 内 容 講義「社会福祉施設における事業継続計画策定の基礎知識」
講師 ぐんま DWAT 先遣隊
特別養護老人ホームやまつつじ
理学療法士 南川 基治 氏
- ② 香川県災害派遣福祉チーム〔香川 DWAT〕（支援隊）登録研修
〔新規登録者 16 人〕
- ・ 開催日 令和 4 年 10 月 21 日
 - ・ 開催方法 オンライン
 - ・ 内 容 講義①「災害派遣福祉チーム（DWAT）とは」【香川県】
講義②「災害時要配慮者支援と法律」
講義・演習①「災害の進行と被災者が置かれる状況の理解」
講義・演習②「DWAT の成り立ちとチーム員が担う機能」
講義・演習③「避難所における被災者支援」
講義・演習④「避難所に支援主体の理解」
講師 コミュニティ・エンパワメント・オフィス FEEL Do
代表 栞原 英文 氏
研究員 菅原 清香 氏
- ③ 香川県災害派遣福祉チーム〔香川 DWAT〕先遣隊 リーダー研修
- ・ 開催日 令和 4 年 12 月 16 日
 - ・ 会 場 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 内 容 講義「香川 DMAT の災害支援活動」
講師 香川大学危機管理先端教育研究センター
特命教授 萩池 昌信 氏
演習「HUG（避難所運営ゲーム）の実践」
- ④ 香川県災害派遣福祉チーム〔香川 DWAT〕活動訓練
- ・ 開催日 令和 5 年 1 月 31 日
 - ・ 場 所 eーとぴあ・かがわ BBスクエア
 - ・ 参加者 42 人
- ⑤ 社会福祉施設等における事業継続計画（BCP）策定研修（全 5 回）
- ・ 開催日 第 1 回 令和 4 年 10 月 20 日 第 2 回 令和 4 年 11 月 24 日
第 3 回 令和 4 年 12 月 15 日 第 4 回 令和 5 年 1 月 27 日
第 5 回 令和 5 年 2 月 16 日
 - ・ 方 法 オンライン
 - ・ 講 師 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携機構
特命准教授 磯打 千雅子 氏
- ⑥ 災害時状況報告システムの機能訓練の実施
- ・ 実施日 令和 4 年 11 月 2 日
 - ・ 対 象 香川県社会福祉法人経営者協議会 全会員法人
 - ・ 方 法 ①LINE WORKS によるアンケート機能の入力、送信

②Google フォームによる災害時状況報告システムの入力、送信

(3) 災害福祉支援コーディネーターの派遣事業

香川県内の地域防災力を高めることを目的に、社会福祉施設等の事業継続計画（BCP）の策定支援や関係機関との防災に関する取組、連携への助言を行うコーディネーターの派遣事業を下記のとおり実施した。 (人)

日時	派遣先	内容	参加者数
令和4年7月22日	特別養護老人ホーム青の山荘	事業継続計画について	13
令和4年9月15日	氷上保育所	事業継続計画について	24
令和4年11月11日	障害福祉サービス事業所サン	事業継続計画について	12

(4) ワーキンググループの設置

【広報・情報発信】

① 第1回広報・情報発信ワーキンググループ

開催日 令和4年7月29日

会場 香川県社会福祉総合センター

参加者 16人

協議題 ・DWATのチラシについて

・ワーキングのチーム員同士のLINEグループについて

② チラシの作成・配布

チーム員が作成したチラシを、各自治体の災害担当課に持参し、あいさつとDWATの周知を行った。

《配布状況》

大川	さぬき市	9月29日	中讃	坂出市	10月18日
	東かがわ市	9月21日		綾川町	10月12日
高松	三木町	10月11日		丸亀市	未定
	高松市	9月22日		宇多津町	9月28日
	直島町	10月14日		多度津町	9月21日
小豆	小豆島町、土庄町	9月30日		善通寺市	10月12日
西讃	観音寺市	9月28日		まんのう町	9月15日
	三豊市	9月15日		琴平町	9月15日

【研修・企画】

① 第1回リーダー、副リーダー打合せ

開催日 令和4年7月21日

方法 オンライン

② 第1回研修・企画ワーキンググループ（先遣隊）

開催日 令和4年8月24日

会場 香川県社会福祉総合センター オンライン

③ 第2回リーダー、副リーダー打合せ

開催日 令和4年11月4日

会 場 真清水荘

④ 第3回リーダー、副リーダー打合せ

開催日 令和5年1月23日

会 場 さぬき市社会福祉協議会

2 市町社協災害対応に向けた体制整備支援と災害福祉支援のための関係機関・団体とのネットワーク構築

災害時における要援護者支援活動や災害ボランティア活動を支援するため、平時から地域住民、ボランティア団体、社協等福祉関係者の連携・協働を密にし、災害発生時に迅速かつ円滑な支援活動ができるよう広域的ネットワークづくりや研修に取り組んだ。

また、研修や個別訪問を通じて、市町社協のBCP策定支援に取り組んだ。

(1) 香川県災害ボランティア支援センターの役割・体制機能の整備

① 香川県災害ボランティア連絡協議会の運営

【第1回】

- ・ 開催日 令和4年7月13日
- ・ 場 所 日本赤十字社香川支部 ボランティアルーム
- ・ 参加者 15人
- ・ 内 容 香川県災害ボランティア連絡会 今年度事業について
情報交換

【第2回】

- ・ 開催日 令和4年11月15日
- ・ 場 所 日本赤十字社香川支部 ボランティアルーム
- ・ 参加者 13人
- ・ 内 容 災害ボランティア研修会について
防災とボランティアのつどいについて
情報交換

【第3回】

- ・ 開催日 令和5年2月15日
- ・ 場 所 日本赤十字社香川支部 ボランティアルーム
- ・ 参加者 15人
- ・ 内 容 防災とボランティアのつどいについて
情報交換

② 県内社会福祉協議会災害対応に係る担当者会の開催

【第1回】

- ・ 開催日 令和4年10月8日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 26人
- ・ 内 容 説明「青年会議所の活動及び情報集約システム『みんなす』に

ついて」

説明者 日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会
説明「①香川県内の災害支援に関する研修について」

「②災害時応援派遣に関するガイドライン（案）及び協定
について」

説明者 香川県社会福祉協議会
グループ討議
全体共有

③ 災害ボランティアに関する三者連携研修

- ・ 開催日 令和5年1月24日
- ・ 場 所 香川県薬剤師会朝日町会館
- ・ 参加者 54人（県社会福祉協議会、県内市町、県内市町社会福祉協議会、県）
- ・ 内 容 講義「災害VCの運営について」
講師 さんすい防災研究所 所長 山崎 水紀夫 氏
事例から学ぶ
講師 多度津町社会福祉協議会 事務局長 藤原 安江 氏
グループワーク
講義「情報共有会議について」
講師 認定特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援
団体ネットワーク（JVOAD）事務局長 明城 徹也 氏
模擬情報共有会議

(2) 災害ボランティア研修の開催

① 災害ボランティア基礎講座

- ・ 開催日 令和4年12月13日（西会場）
令和4年12月24日（東会場）
- ・ 会 場 丸亀市市民活動センターマルタス（西会場）
香川県社会福祉総合センター（東会場）
- ・ 内 容 【両会場共通】
講義「災害ボランティア・災害ボランティアセンターとは」
演習「クロスロード体験」
講師 さんすい防災研究所 所長 山崎 水紀夫 氏
- ・ 参加者 市町社会福祉協議会職員、香川県災害ボランティア連絡協議会構成団体所属員（西会場）40人（東会場）39人

② 災害ボランティアセンター運営者養成研修

- ・ 開催日 令和5年1月16日
- ・ 会 場 朝日町薬剤師会館
- ・ 内 容 講義「災害ボランティアセンターの役割とは」
演習「災害ボランティアセンター運営訓練」

講師 一般社団法人ピースボート災害支援センター

- ・ 参加者 20人（県内市町社協職員）

(3) 市町社協のBCP策定支援

① 研修会の実施

「社会福祉協議会における事業継続計画を考える研修会」

- ・ 開催日 令和4年7月4日
- ・ 会場 香川県社会福祉総合センター
- ・ 内容 講義Ⅰ「なぜ事業継続計画が必要なのか」
講義Ⅱ「社協が策定する事業継続計画のポイント（地震編）」
講師 佛教大学福祉教育開発センター講師 後藤 至功 氏
- ・ 参加者 37人

② BCP策定支援

善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市の5か所の市社協を重点社協に設定し、BCP策定の支援を行った。令和5年度中にいったん完成の予定である。

- ・ 講師 佛教大学 福祉教育開発センター講師 後藤 至功 氏

社協名	打合せや訪問日・内容
善通寺市社協	令和4年8月15日 講師に同行し現地視察。 10月14日 BCP作成進捗共有会議(オンライン) 12月19日 研修の実施（講師に同行し現地視察（中間）
観音寺市社協	令和4年6月30日 初回打合せを行い、現状の把握。 8月15日 講師に同行し現地視察。 10月14日 BCP作成進捗共有会議(オンライン) 12月19日 研修の実施（講師に同行し現地視察（中間） 令和5年2月14日 観音寺市社協内の事業継続計画策定チームのケアマネジャーとヘルパーを対象とした研修
さぬき市社協	令和4年7月26日 初回打合せを行い、現状の把握。 8月16日 講師に同行し現地視察。 10月14日 BCP作成進捗共有会議(オンライン) 12月16日 研修の実施（講師に同行し現地視察（中間）
東かがわ市社協	令和4年6月29日 初回打合せを行い、現状の把握。 8月16日 講師に同行し現地視察。 10月14日 BCP作成進捗共有会議(オンライン) 12月16日 研修の実施（講師に同行し現地視察（中間）

社協名	打合せや訪問日・内容
三豊市社協	令和4年7月26日 初回打合せを行い、現状の把握。 8月15日 講師に同行し現地視察。 10月14日 BCP作成進捗共有会議(オンライン) 12月19日 研修の実施(講師に同行し現地視察(中間)) 令和5年2月14日 居宅介護支援事業所のケアマネジャー、訪問介護事業所のヘルパーを対象とした研修会の開催

③ 各市町社協、各種団体で実施された研修等への参加、実施の協力

研修内容	主催者等	開催日・場所	県社協の関わり
災害ボランティア養成講座	坂出市社協	令和4年8月28日 坂出グランドホテル	災害VCについて説明
防災研修会	三豊市社協	令和5年1月15日	災害VCについて
小豆圏域ネットワーク会議災害ボランティアセンター運営研修	土庄町社協・小豆島町社協	令和4年7月22日 小豆島イマージュセンター	災害VCについての説明とマッチングゲームの進行協力
防災研修会	宇多津町社協・宇多津町ボランティア連絡協議会	令和4年9月17日、 令和5年3月12日 宇多津町保健センター	災害VCの説明とマッチングゲームの進行協力
赤十字防災ボランティア基礎研修会	日本赤十字社香川県支部	令和4年6月12日 日赤ルーム	災害VCについて説明
日赤防災セミナー	日本赤十字社香川県支部	令和4年7月29日(東植田)、10月9日(鶴市)、11月18日(飯山北)、12月4日(琴南・神野)、1月22日(豊浜)、1月29日(飯山南)、2月5日(まんのう町吉野)、2月22日(津田)	災害VCについて説明
災害時聴覚障害者意思疎通支援ボランティア	香川県障害福祉課	令和4年8月10日 多度津町役場 10月25日 三木町防災センター	災害VCについて説明
防災士養成講座	香川大学	令和4年10月15日 令和5年1月12日	災害VCについて

(4) 四国ブロック県社協等との災害時における連携のあり方の協議

① 四国ブロック県社協災害支援担当者会議への参加

【第1回】

- ・ 開催日 令和4年6月9日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 協議事項 災害ボランティアセンターマネジメント研修モデル研修について四国ブロックで実施する中核を担う職員の研修について

【第2回】

- ・ 開催日 令和5年3月8日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 協議事項 災害ボランティアセンターマネジメント研修について
日本青年会議所四国地区協議会との訓練について
その他

② 令和4年度災害ボランティアセンターマネジメント研修（全社協研修）

【四国ブロック県社協と全社協等との事前打合せ】

- ・ 開催日 令和5年1月6日
- ・ 内容 オリエンテーションについて
当日の動きについて

【研修会】

- ・ 開催日 令和5年2月9日・10日
- ・ 会場 かがわ国際会議場、香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 52人（四国4県社協・市町村社協職員）
- ・ 内容 オンデマンド配信による事前視聴動画

【1日目】テーマ「被災状況にあわせた対応」

オリエンテーション

- ・ 研修全体のオリエンテーション
- ・ 四国ブロック各県の災害支援に関する体制整備及び本研修開催に至った経緯について

講義：災害ボランティアセンターのあり方

- ・ 災害ボランティアセンターの機能、3原則
- ・ 被災者の置かれる状況の理解
- ・ 設置時における判断、検討、調整

講義：運営マネジメント

演習①：災害ボランティアセンター設置に関する演習

【2日目】テーマ「連携・協働」

講義：運営マネジメント（2）

- ・ リスクマネジメントの基本・ボランティア活動の安全衛生
- ・ 社協組織内マネジメント・応援職員等のマネジメント

講義：行政との連携

- ・ 災害時の行政の役割・設置や運営時における行政との連携
- ・ 被災者支援の公的支援制度（おさらい）・平時からの関係構築

講義：NPO等との連携

- ・ 災害時のNPO等の活動、災害ボランティアセンターの運営

支援
 ・被災者支援のためのNPO等との連携
 演習②：災害ボランティアセンターの機能拡充

- ③ 令和4年度災害対応ブロック幹事県・市社協会議への参加
- ・ 開催日 令和4年8月23日
 - ・ 開催方法 オンライン
 - ・ 内容 大雨に係る対応状況（北海道社協、新潟市社協、富山県社協）
 質疑、その他

3 福祉人材確保・育成・定着

3-1 福祉人材センター事業の充実・強化

1 福祉人材無料職業紹介事業の実施

福祉人材無料職業紹介所として、求人・求職情報の収集提供に努めるとともに、福祉の職場に就職を希望する方の相談・就職斡旋を行った。

(1) 求人・求職の登録、職業紹介状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
求人数	人数	520	225	425	468	211	447	460	218	403	527	276	463	4,643
	件数	97	57	100	94	57	103	96	61	100	103	74	108	1,050
求職者数		231	197	146	199	191	167	209	183	158	214	185	171	2,251
(新規求職者数)		74	45	15	37	28	28	21	15	8	17	17	18	323
紹介数		10	9	4	4	11	9	11	16	7	13	8	40	142
応募数		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
就職者数		9	6	5	0	5	9	6	10	7	6	7	40	110
相談	求人	35	23	21	21	38	22	18	14	18	21	17	28	276
	求職	103	90	120	94	109	113	114	85	77	95	69	107	1,176

(2) 求人・求職の登録、職業紹介状況(介護)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
求人数	人数	193	86	184	168	72	207	160	73	168	165	91	189	1,756
	件数	42	22	53	40	22	53	39	22	49	44	27	58	471
求職者数		171	97	101	149	109	116	152	103	113	155	108	123	1,497
(新規求職者数)		62	16	8	33	17	17	13	7	5	10	12	14	214
紹介数		5	5	1	2	5	3	6	5	0	2	1	31	66
応募数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就職者数		5	1	2	0	2	4	2	5	1	0	0	30	52
相談	求人	29	18	15	18	25	10	15	7	12	17	9	21	196
	求職	62	52	73	58	59	70	73	31	40	46	37	67	668

(3) 就職相談

・毎月第4土曜日（要事前予約） 相談件数：来所 1件

(4) 福祉情報の提供

- ① 案内チラシの郵送やホームページ、SNS（フェイスブック）などを通じ、各種講習会、福祉の職場説明会の案内等福祉に関する情報の提供を行った。
- ② 求職者の円滑な就職活動及び求人施設の採用活動を支援するため、求職・求人申込みに対し、福祉人材情報システム「福祉のお仕事」を活用し、迅速に求人・求職登録を行うとともに、求人情報を掲載した。
求人へのアクセス数 27,419件(内mobile 12件)
- ③ 求職登録者に対し、メール、SNS（フェイスブック）、郵送等で「福祉のお仕事」に掲載した求人情報を案内した。
- ④ ハローワークの求人情報オンライン提供サービスを活用し、求職者からの就職相談等に対応した。（ハローワーク紹介数14件）

(5) 福祉人材情報システム「福祉のお仕事」の活用・運営

福祉人材情報システム「福祉のお仕事」を活用し、求人・求職情報等の迅速な提供、効率的な事務処理を図った。

- ① 求人・求職登録の管理
- ② 潜在介護福祉士等届出者登録の管理
- ③ 紹介状の作成
- ④ 月次、年次統計の作成
- ⑤ 求職者・届出者のパソコン、スマートフォン向け情報メールの送信

(6) 広報・啓発事業の実施

事業内容	実施回数等	
① ホームページ等での情報提供 ・県社協ホームページでの情報提供 ・福祉人材センターFacebook等での情報提供	福祉のしごと相談会、福祉の職場説明会、保育士就職フェア、職業体験研修、介護職リスタート研修、就職フェア、職場体験、各種研修情報	
② 「福祉の職場説明会」の広報	ちらし	4,000部
③ 「福祉のしごとサポートフェア」の広報	ちらし	4,000部
	ポスター	100部
	ノベルティ（ボールペン）	300個
④ Facebook及びInstagram広告	保育のしごと相談会	1回
⑤ 介護現場における多様な働き方導入モデル事業の広報	紹介動画(ホームページに掲載)	1回
	ちらし	3,000部

(7) 運営委員会の開催

- ① 第1回 令和4年6月8日 香川県社会福祉総合センター
・ 審議内容 令和3年度事業報告について
令和4年度事業計画について

- ② 第2回 令和5年3月3日 香川県社会福祉総合センター
- ・ 審議内容 委員長の選任について
令和4年度事業実施状況について
令和5年度事業計画（案）について

2 社会福祉事業従事者の人材確保と育成

(1) 「福祉の職場説明会」の開催

福祉の職場への就職を希望される方、福祉の仕事に関心のある方と福祉人材を求める事業所・団体との話し合いの場を提供することにより、福祉の人材確保を図るため、例年、福祉の職場説明会を開催している。今年度は午前の部と午後の部に分けて、対面形式で説明会を開催した。

年度	開催地	場 所	開催日	参加求職者数	事業所数
R4年度	高松	高松シンボルタワー	8月5日	一般16人 学生31人	31事業所

(2) 福祉人材確保研究会の開催（オンライン）

就職フェアの実施に向けて、求職者に選ばれる事業所となるために、採用におけるプレゼンテーションのポイントや具体的な表現、効果的なアピール方法等について学ぶことを目的に開催した。

開催日	内 容	参加者
1月31日	『就職フェアに向けたプレゼン力向上研修 ～自社の魅力を端的に語る』 講師 株式会社インソース 北本由紀氏	12事業所 19人

(3) 人事管理セミナーの開催（オンライン）

香川県社会福祉法人経営者協議会と共催で、福祉人材の採用において最も必要となる「求人」を魅力的に見せる手法や採用ミスマッチ、早期離職を防ぐ求人の書き方などについて学ぶことを目的に開催した。

開催日	内 容	参加者
令和5年 1月20日	講義『福祉業界の魅力の伝え方と応募が増える求人の書き方』 講師 株式会社マイナビ メディカル事業本部 福祉介護メディア推進部部長 神野達郎氏	20事業所 31人

(4) 社会福祉施設等職員採用内定者研修会の開催（オンライン併用）

社会福祉施設の職員採用活動を支援するため、採用内定者のうち新規学卒者を対象に「コミュニケーション技法」を内容とする研修会を開催した。

回	開催日	場 所	内 容	参加者
第1回	3月9日	香川県社会福祉総合センター	・福祉職場におけるコミュニケーションとは ・福祉職のプロとしての心構え 講師 侍留社会保険労務士事務所 侍留慶子氏	33人
第2回	3月15日			19人

3 人材確保に関する機関・団体及び福祉養成校との連携

(1) 県内ハローワーク、香川県介護福祉士会などの関係機関、団体との連携

ハローワーク高松、香川県介護福祉士会等の関係機関・団体と連携をとりながら事業の円滑な運営を図った。

また、介護職場の魅力PRと質の高い介護人材の確保を図ることを目的として、国（香川労働局及び県内各ハローワーク）、県、関係団体、関係機関及び学校関係者が連携して、ワンストップサービスの観点から、DVD上映会、就職フェア等を実施した。

① DVD上映会&介護体験セミナー

開催日	場 所	内 容	参加者
毎月第3火曜日 (計 11 回)	ハローワーク高松	求職者向けDVD上映会	123 人

※コロナ禍のため、DVD上映のみ開催。

② かがわーく

新型コロナウイルスの影響で規模縮小のため不参加。

③ 介護就職デイ（介護のしごと就職フェア：ハローワークとの共催事業）

年度	開催地	場 所	開催日	参加求職者数	事業所数
R4 年度	高松	サンメッセ香川	11 月 7 日	64 人	58

(2) 県内高校及び県外福祉人材養成校への訪問

県外福祉人材養成校への訪問は、新型コロナウイルスの影響により昨年度に引き続き中止したが、県内の高校訪問については、香川県老人福祉施設協議会の介護の仕事紹介事業にあわせて、香川県福祉人材センター事業について周知案内を行った。

(3) 就職ガイダンスの実施（福祉人材養成校との連携）

福祉人材養成校及び介護労働安定センター香川支部において就職ガイダンスを開催し、県内の社会福祉施設・事業所の概要、福祉人材センターへの求職登録方法、求職活動における留意点等について説明した。

福祉人材養成校	開催日	参加者数 (人)	登録者数 (人)
さぬき福祉専門学校	4 月 1 日	5	3
香川短期大学	4 月 6 日	10	10
四国学院大学専門学校	4 月 11 日	10	10
四国医療福祉専門学校	4 月 25 日	20	18
介護労働安定センター香川支部 (介護労働講習受講者)	7 月 26 日	28	15
合 計		73	56

(4) 介護に関する入門的研修における就職支援

香川県介護福祉士養成校連絡協議会が実施する介護未経験者向けの入門的研修において、研修受講者に対し就職支援の説明を行うとともに介護福祉士等の届出制度について周知を行った。届出者 14 人のうち、2 人がマッチング支援により就職した。

研修開催校	実施日	受講者(人)	届出者(人)
さぬき福祉専門学校	8月27日	19	
四国医療福祉専門学校	9月19日	19	
四国学院大学専門学校	10月22日	9	1
香川短期大学	11月5日	12	
守里会看護福祉専門学校	2月4日	14	7
穴吹パティシエ福祉カレッジ	2月23日	12	6

(5) 四国ブロック福祉人材センター研究協議会・マッチング機能強化研修会の開催

- ・ 開催日 令和4年11月4日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 21人(中央福祉人材センター・四国各県人材センター)
- ・ 内容 全国の情勢報告・基調説明
共通協議題協議
各県提出議題協議
四国ブロックマッチング機能強化研修
講義「福祉・介護職の魅力の伝え方」
株式会社マイナビ メディカル情報事業部 神野 達郎 氏

3-2 福祉・介護マンパワーの確保

1 福祉・介護人材マッチング支援事業の実施

- ・ 求職ニーズの把握
専門員が県内地域の集会施設やハローワークに出張し、求職者と個別に面接・相談を行い、それぞれの求職者のニーズ及び適性を把握したうえで、適切な仕事及び職場を紹介した。
- ・ 求人ニーズの把握
専門員が随時、事業所や施設を巡回訪問して求人事業所のニーズや課題等を把握し、働きやすい職場づくりに向けた人材育成・労働環境・経営管理等の情報提供を行った。
- ・ 就職フェアの開催
求人施設・事業所と求職者の効率的なマッチングが行えるよう、県内全域及び地域での就職フェアを開催した。
- ・ 就職後の定着促進
専門員が福祉人材センターのあつ旋による就職後間もない職員がいる事業所を訪問し、就労についての悩みや疑問について相談支援を行った。

(1) 福祉のしごとサポートフェアの開催

年度	開催地	場所	開催日	参加求職者数 (人)	事業所数
R4 年度	丸亀	オークラホテル丸亀	7月21日	29	20
	高松	高松シンボルタワー	3月17日	20	24
R3 年度	丸亀	オークラホテル丸亀	7月10日	35	18
	高松	高松シンボルタワー	3月18日	33	25
R2 年度	丸亀	オークラホテル丸亀	12月22日	29	29
	高松	高松シンボルタワー	3月26日	70	39

(2) 施設・事業所巡回訪問

巡回事業所・施設数 7 事業所

- 特別養護老人ホーム 2 事業所 満濃荘、たくま荘
- 住宅型有料老人ホーム 1 事業所 よりあいの家はるか
- 老人デイサービスセンター 1 事業所 認知症対応型デイサービス大樹
- 障害福祉サービス事業所 1 事業所 ワークプラザたんぽぽ
- 就労継続支援B型 1 事業所 府中オリーブ園
- 地域活動支援センター 1 事業所 地域活動支援センターおへんろの駅こくぶ

(3) 小規模事業所人材育成・定着支援事業

小規模事業所においては、日ごろの業務との兼ね合いから、人材育成・定着に対して十分に対応できていないことから、介護職員の離職防止を目的に、介護職のためのストレスケア研修、管理職のためのストレスマネジメント研修を実施した。

開催日	場所	内 容	参加者
令和5年 2月9日	香川県社会福祉 総合センター	「介護職のためのストレスケア研修会 ～まずは自分のケアから～」 講師 社会保険労務士 石原 誠吾 氏	5 事業所 7 人
2月21日	香川県社会福祉 総合センター	「管理職のためのストレスマネジメント ～「折れない心」の作り方～」 講師 社会保険労務士 石原 誠吾 氏	10 事業所 12 人

(4) 相談会・登録会等の開催

①ハローワークにおける「福祉の相談会」

開催地	開催場所	相談者数	登録者数 (新規登録)
高松市	ハローワーク高松	85 人	75 人 (うち新規 28 人)
	しごとプラザ高松	27 人	16 人 (うち新規 16 人)
丸亀市	ハローワーク丸亀	66 人	55 人 (うち新規 21 人)

開催地	開催場所	相談者数	登録者数 (新規登録)
観音寺市	ハローワーク観音寺	27人	11人 (うち新規11人)
さぬき市	ハローワークさぬき	17人	16名 (うち新規3人)

②地域の「相談会・登録会」

開催場所	相談者数	うち求職登録者数
ユープラザうたづ	34人	8人

③ミニ説明会

開催場所	開催日	参加求職者数	事業所数
ユープラザうたづ	7月12日	7人	2事業所
	11月8日	3人	2事業所
	3月14日	5人	3事業所

(5) 職業体験事業の実施

福祉・介護の仕事に関心を持っている中高生に、職場体験を行う機会を提供することにより、福祉・介護分野への就労及び定着の促進を図った。

【夏】

○事前研修

- ・西会場（ユープラザうたづ）日程：令和4年7月26日
- ・東会場（香川県社会福祉総合センター）日程：令和4年7月27日

○体験日 8月1日～8月5日

○参加者 82人

○協力施設・事業所 53施設・事業所

- ・高齢者施設 15事業所
特別養護老人ホーム10事業所、介護老人保健施設2事業所、デイサービスセンター3事業所
- ・障害者施設 5事業所
指定障害福祉サービス事業所3事業所、障害児通所支援事業所1事業所、障害者支援施設1事業所
- ・保育児童分野 14事業所
保育所7事業所、認定こども園6事業所、幼稚園1事業所

【春】

○事前研修

- 西会場（ユープラザうたづ）日程：令和5年2月25日
- 東会場（香川県社会福祉総合センター）日程：令和5年3月4日

○体験日

令和5年3月7日、8日、27日、28日、29日

○参加者 92人

○協力施設・事業所 37施設・事業所

・高齢者施設 15事業所

特別養護老人ホーム9事業所、介護老人保健施設2事業所、デイサービスセンター4事業所

・障害者施設 8事業所

指定障害福祉サービス事業所5事業所、障害者支援施設3事業所

・保育児童分野 14事業所

保育所7事業所、認定こども園6事業所、幼稚園1事業所

(6) 学生と介護福祉士の意見交換会の開催

香川県介護福祉士会との共催で、在学中の学習意欲の向上と卒業後の進路選択の一助とし、次世代の介護人材養成を図ることを目的として、介護福祉士養成施設の学生と社会福祉施設で働く介護福祉士との意見交換会を開催した。

内容 ① 社会福祉施設等で働く介護福祉士による講話

② 質疑・意見交換

開催日	場 所	講 師	参加者
7月11日	英明高等学校	香川県介護福祉士会 三井早苗氏	3年生 9人
9月30日	専門学校穴吹パティシエ福祉 カレッジ	香川県介護福祉士会 清水卓也氏、山根弘美氏	1年生 40人
10月17日	四国学院大学専門学校	香川県介護福祉士会 清水卓也氏、山根弘美氏	1年生 11人
10月26日	香川短期大学 生活文化学科生活 介護福祉専攻	香川県介護福祉士会 近江照博氏	2年生 10人
11月18日	四国医療福祉専門学校	香川県介護福祉士会 池ノ内祐也氏	1年生 32人
11月21日	香川県立飯山高等学校 (福祉系列)	香川県介護福祉士会 清水卓也氏、山根弘美氏	2年生 9人
合 計			111人

2 潜在的有資格者再就業等促進事業の実施

(1) 職場体験事業の実施

福祉・介護の仕事に関心を持っている人に職場体験を行う機会を提供することにより、福祉・介護分野への就労及び定着の促進を図った。

参加施設・事業所

分野	種別	参加施設・事業所数	延べ体験参加者数 (人)	就職者数 (人)
高齢	特別養護老人ホーム	18	3	1
	介護老人保健施設	3		
	老人保健施設	1		
	老人デイサービスセンター	8		
	グループホーム	5		
	サービス付き高齢者向け住宅	3	1	
計		38	4	1

(2) 潜在的有資格者等再就業促進研修(介護職リスタート研修)の実施

香川県介護福祉士会との共催で、福祉の職場への就職を希望される方、福祉の仕事に関心のある方を対象に実技研修を3回実施した。

今年度の参加者は、ほぼ全員が第1回から第3回まで全てに参加した。

回	開催日	内容	参加者(人)
第1回	令和4年10月24日	移動、移乗介助	13
第2回	令和4年11月15日	着脱介助	12
第3回	令和4年12月7日	排泄介助	11
延べ人数			36

(3) 潜在的有資格者等掘りおこし事業の実施

① 施設事業所退職者に対するアンケート調査及び介護の届出制度の周知

一般財団法人香川県民間社会福祉施設振興財団(以下、「振興財団」と連携し、振興財団の退職共済契約施設を退職した方を対象に、退職理由及び今後の求職活動等について、アンケート調査を行った。

調査方法	郵送(返信用封筒同封)
回答時期	令和4年4月～令和5年3月
送付数	584通(回答数106通 回答率18.2%)
回答内容	(1) 年代 ・10～30代 35人 ・40～50代 36人 ・60代～ 35人
	(2) 離職前の就業分野 ・高齢者福祉 48人 ・障害者福祉 21人 ・児童福祉 30人 ・その他 4人
	(3) 離職前の職種 ・介護職 32人 ・保育士、児童相談員 24人 ・生活支援員 6人 ・看護師 6人 ・相談員、指導員 5人 ・その他 25人
	(4) 離職理由(主な理由) ・定年、雇用期間満了 25人 ・法人、事業所の運営の在り方に不満 22人 ・心身の不調 25人 ・職場の人間関係 27人 ・様々な職場を経験してみたい 15人

	(4) 離職理由 (主な理由)	
	・結婚、出産、育児	13人
	・将来の見込みが立たなかった	9人
	・給与、給与体系	7人
	(5) 現在の状況 (主なもの)	
	・福祉分野で働いている	39人
	・就業していないが求職中	26人
	・就業していない	21人
	・福祉分野以外で働いている	10人

② 介護に関する入門的研修における介護福祉士等の届出制度登録の周知

香川県介護福祉士養成校連絡協議会が実施する介護未経験者向けの入門的研修において、研修受講者に対し就職支援の説明を行うとともに、介護福祉士等の届出制度について周知を行った。

3 香川県保育士就職支援事業の実施

保育士資格を有しながら保育施設で働いていないが、働く意欲をもっている潜在保育士等の就職相談、職業紹介を行うため、コーディネーターを配置し、潜在保育士の再就職支援を行った。

(1) 求人・求職の登録、職業紹介状況 (保育士)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
求人数	人数	140	77	96	114	82	114	127	83	116	169	105	127	1,350
	件数	33	22	33	29	24	33	31	29	34	38	34	33	373
求職者数		60	100	45	50	82	51	57	80	45	59	77	48	754
(新規求職者数)		12	29	7	4	11	11	8	8	3	7	5	4	109
紹介数		5	4	3	2	6	6	5	11	7	11	7	9	76
応募数		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
就職者数		4	5	3	0	3	5	4	5	6	6	7	10	58
相談件数	求人	6	5	6	3	13	12	3	7	6	4	8	7	80
	求職	41	38	47	36	50	43	41	54	37	49	32	40	508

(2) 就職相談会

相談会名	開催日	事業所数	参加者数	相談者数	登録者数
かがわ保育士就職フェア	令和4年8月11日	17事業所	32人	8人	4人
かがわ保育士就職面談会	令和4年11月23日	17事業所	28人	7人	1人

(3) 保育士再就職支援セミナーへの参加（求職相談）

回	開催日	会場	内容
第1回	12月11日	穴吹学園ホール	気になる子どもの支援
第2回	1月22日		保育施設における感染防止対策について
第3回	2月11日		子どものこころを豊かにする読み聞かせ

(4) 「福祉のしごと」相談・求職登録会

開催場所	相談者数(人)	登録者数(人)
ハローワーク高松	13	6
しごとプラザ	5	1
ハローワーク丸亀	8	4
ユープラザうたづ	5	1

(5) 福祉人材センター来室相談者 55人（うち新規登録者24人）

(6) 施設事業所巡回訪問については、新型コロナウイルスの感染拡大のため、今年度は実施しなかった。

(7) 全国連絡会議・四国ブロックマッチング機能強化研修会への参加

①保育士・保育所支援センター等実施福祉人材センター連絡会議

- ・ 開催日 令和5年1月20日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 内容 行政説明
レポート

「保育士確保の取り組みと保育士・保育所支援センターへの期待」
全国保育協議会 副会長 森田 信司 氏
1分リレートーク「わがセンターで力を入れていること」
グループディスカッション

- ①潜在保育士等への効果的なアプローチについて
- ②その他（事前のアンケート回答による）

②四国ブロックマッチング機能強化研修会（徳島県）

- ・ 開催日 令和4年11月4日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 24人（中央福祉人材センター・四国各県人材センター）
- ・ 内容 講義「福祉・介護職の魅力の伝え方」
株式会社マイナビ メディカル事業本部 神野 達郎 氏

4 介護現場における多様な働き方導入モデル事業の実施

多様化、複雑化する介護ニーズに対応するため、介護助手や他業種からの新規参入者等多様な人材の参入を促しつつ、外部コンサルタント等を活用し、リーダー的介護職員の育成等チームケアの実践を強力に推進することにより、介護人材の参入環境の整備、定着促進とサービス利用者の自立支援・満足度の向上を図るためのモデルケースを作ることを目的に実施した。

(1) 介護助手等希望者に対する説明会の実施

事業所名	開催日	会 場	参加者
特別養護老人ホーム満濃荘	10月14日	特別養護老人ホーム満濃荘	2人
特別養護老人ホームたくま荘	11月10日	特別養護老人ホームたくま荘	5人

(2) 介護助手等希望者とモデル介護事業所とのマッチング支援

事業所名	問合せ(人)	見学・面接(人)	採用(人)
特別養護老人ホーム満濃荘	4	2	2
特別養護老人ホームたくま荘	3	5	2
地域密着型デイサービスゆず	0	2	2
その他	3	1	0
合 計	10	10	6

(3) 企画評価委員会の設置及び運営

- 第1回 令和4年9月14日 モデル介護事業所の選定について
第2回 令和4年12月23日 事業計画書について
第3回 令和5年2月28日 介護助手等向けアンケートについて
事業報告書について

(4) モデル介護事業所への取組み支援（介護労働安定センター香川支部へ再委託）

- ①リーダー的介護職員等の人材育成
- ②キャリアパスの明確化
- ③利用者の重度化予防
- ④介護職員のキャリア、専門性に応じたサービス提供体制のもとでの、多様な人材によるチームケアの実践（受入体制の整備、周辺業務の切り出し、各種研修等）

(5) 介護助手等向け研修の実施

介護助手等に対し、高齢者とのコミュニケーション力向上を目的とし実施した。
下記DVDの中から各事業所の担当者により選定されたものを貸出し、視聴及び
内容の振り返りを行う。

実施期間：令和4年11月21日～令和5年1月20日

研修用DVD

- ①『認知症の人といっしょに生きる』
- ②『介護職のコミュニケーション技術～利用者とかかわるスキルの習得と実践～』
- ③『認知症の“人の気持ち”～思いを理解してかかわる～』

(6) 介護助手等向けアンケートの実施

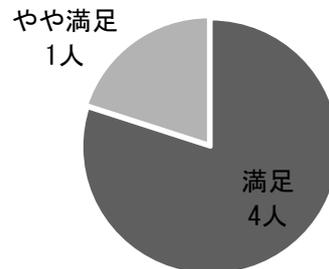
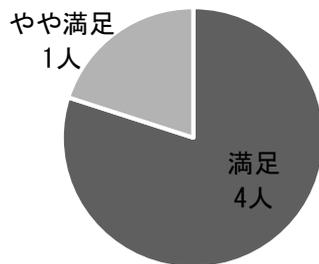
① 基本情報

年 齢 20代…2人、30代…1人、70代…2人
性 別 男性…0人、女性…5人
勤務時間 平均3.5時間/日
勤務日数 平均3.8日/週

② 満足度

ア 介護助手の業務について

イ 勤務事業所について



(7) モデル介護事業所意見交換会の実施

- ・ 開催日 令和5年1月17日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 10人（令和2年度・3年度モデル介護事業所、県、介護労働安定センター香川支部）
- ・ 内容 介護助手等のマッチング状況・事例の紹介について
事前質問への回答について
広報用動画・チラシ作成の依頼について

5 福利厚生センター事業の充実と加入促進

社会福祉法人福利厚生センターの香川事務局として、県内社会福祉事業従事者に対して福利厚生サービスを提供した。

(1) 加入状況 78 法人 166 施設・団体 会員数 4,156 人

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行や食事会などの会員交流事業を中止し、全国共通のギフトカードを会員全員に配布した。

QUOカードの配布 4,192 枚（単価 1,550 円）

3-3 資格取得支援等事業の推進

1 介護福祉士修学資金等貸付事業の実施

(1) 介護福祉士修学資金等の貸付

質の高い介護福祉士又は社会福祉士の養成確保を目的として、香川県内及び県外の介護福祉士・社会福祉士養成施設に在学する学生に対し、修学資金の貸付けを実施した。

①令和元年度貸付決定者分

貸付者数		1人
内訳	4年課程4年生	1人
令和4年度貸付額		600,000円

②令和3年度貸付決定者分

貸付者数		56人
内訳	2年課程2年生	56人
令和4年度貸付額		42,715,320円

③令和4年度貸付決定者分

貸付者数		人数	貸付決定額	令和3年度貸付額
内訳	2年課程1年生	53人	87,516,800円	42,418,400円
	社会福祉士	1人	380,000円	380,000円
合計		54人	87,896,800円	42,798,400円

(2) 介護福祉士実務者研修受講資金の貸付

介護の実務経験3年以上をもって介護福祉士国家試験を受けるには、「介護福祉士実務者研修」の修了が義務付けられているため、都道府県が指定する養成施設に入講し、資格取得を目指す受講者に対して、受講費用等の貸付けを実施した。

令和4年度貸付決定者分

貸付決定者数	31人
令和4年度貸付決定額	6,838,620円

(3) 離職介護人材の再就職準備資金の貸付

即戦力として期待される介護人材として求められる一定の知識及び経験を有する方に対し、再就職準備金の貸付を実施した。

令和4年度貸付決定者分

貸付決定者数	6人
令和4年度貸付決定額	1,730,814円

(4) 介護分野及び障害福祉分野就職支援金の貸付

新たな介護人材の参入を促進することを目的として、他業種等で働いていた者等であって、一定の研修等を修了し、介護分野及び障害福祉分野に就労しようとする者に対し、就職支援金（最大20万円）の貸付けを実施した。

令和4年度貸付決定者分

貸付決定者数	3人
令和4年度貸付決定額	392,555円

(5) 福祉系高校修学資金

今後、必要となる介護人材等を着実に確保していくため、若者の介護分野への参入促進、地域の介護人材の育成及び確保並びに定着を支援することを目的とし、福祉系高校に在学し、介護福祉士の資格の取得を目指す学生に対し、修学資金の貸し付けを実施したが、令和4年度は申請、貸付実績なし。

2 保育士修学資金貸付等事業の実施

(1) 保育士修学資金の貸付

質の高い保育士の養成確保を目的として、香川県内の保育士養成施設の学生に対して修学資金の貸付けを実施した。令和2年度から、県外養成校の学生も貸付対象とした。

① 平成29年度貸付決定者分

貸付者数		1人
内訳	4年課程4年生	1人
令和4年度貸付額		200,000円

② 令和2年度貸付決定者分

貸付者数		9人
内訳	3年課程3年生	6人
	4年課程3年生	2人
	4年課程4年生	2人
令和4年度貸付額		1,900,000円

③ 令和3年度貸付決定者分

貸付者数		27人
内訳	2年課程2年生	16人
	3年課程2年生	2人
	4年課程2年生	6人
	4年課程3年生	2人
	4年課程4年生	1人
令和4年度貸付額		17,339,300円

④ 令和4年度新規貸付決定者分

貸付者数		人数	貸付決定額	令和4年度貸付額
内訳	2年課程1年生	13人	15,820,000円	9,290,000円
	2年課程2年生	2人	3,200,000円	1,400,000円
	4年課程1年生	3人	4,800,000円	2,200,000円
	4年課程2年生	2人	2,400,000円	960,000円
	4年課程4年生	1人	1,600,000円	800,000円
合計		21人	27,820,000円	14,650,000円

(2) 保育補助者雇上費の貸付

保育士の離職防止を目的として、平成28年度から保育士の雇用管理改善や労働環境改善に取り組んでいる香川県内の保育事業所に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇上げに必要な費用の貸付けを行う事業を実施した。

令和4年度貸付決定者分

貸付事業所数	1事業所
令和4年度貸付額	2,953,000円

(3) 潜在保育士等支援事業の実施

保育人材の確保を図るため、平成30年度から潜在保育士の再就職支援として、未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付及び就職準備金の貸付を実施した。

潜在保育士等支援事業		貸付者数	貸付額
内 訳	未就学児を持つ保育士保育料の一部貸付	27人	3,795,950円
	就職準備金貸付	14人	4,485,617円
令和4年度 合計		41人	8,281,567円

4 社会福祉法人・施設等への支援と福祉サービスの質の向上

4-1 社会福祉法人・施設等への支援

1 香川県小規模法人のネットワーク化による協働推進事業

(1) 事業の周知

- ① 県内社会福祉法人、市町社会福祉協議会等、202か所にチラシを配布し、事業の周知を行った。
- ② 県内社会福祉法人等による下記の会において、本事業の周知を行った。

開催日	会議等の名称
令和4年5月31日	香川県社会福祉法人経営者協議会 第1回総会
令和4年7月26日	小豆圏域ネットワーク会議代表者会
令和5年2月20日	大川保健福祉圏域内連絡会（経営協）
令和5年2月21日	中讃保健福祉圏域内連絡会（経営協）

(2) 地域貢献のための協働事業の実施

- ① みんなの島のおむすびネットワーク
 - ・ 参画法人 社会福祉法人聖愛財団、社会福祉法人イエス団、NPO法人SEEDS OF HOPE、一般社団法人小豆島 子ども・若者支援機構
 - ・ 日 時 令和4年9月～令和5年3月
 - ・ 内 容 小豆圏域内で、車を持たない世帯や乳幼児、妊産婦、公共交通機関の終了で自助での送迎ができず、帰宅困難になった子どもの送迎支援を行った。
- ② おもいやりネット丸亀
 - ・ 参画法人 社会福祉法人いいのやま福祉会、社会福祉法人塩屋福祉会、社会福祉法人禱友会、社会福祉法人博安会、社会福祉法人萬象園、社会福祉法人宝樹園、社会福祉法人真理聖福祉会、社会福祉法人鶴足津福

社会、社会福祉法人丸亀市社会福祉協議会

- ・ 日 時 令和5年3月24日
- ・ 会 場 丸亀ひまわりセンター
- ・ 内 容 社会福祉法人向けに施設のBCP策定についての勉強会を開催し、防災をきっかけに、施設が地域で求められる役割や共同で出来る事を考えるきっかけを作り、参画法人施設同士の情報共有や顔の見える関係づくりを進めた。

(3) 福祉・介護人材の確保・定着のための取り組みの推進

① さぬき市地域ネットワーク会議

- ・ 参画法人 社会福祉法人祐正福祉会、社会福祉法人香東園、社会福祉法人志度玉浦園、社会福祉法人長尾福祉会、社会福祉法人さぬき市社会福祉協議会
- ・ 日 時 令和4年8月～令和4年10月
- ・ 会 場 スーベルさんがわ
- ・ 内 容 香川おもいやりネットワーク事業の参画法人を中心に、福祉人材不足の解消、人材育成を目的に、介護支援専門員実務研修受講試験の合格を目指し、試験対策講座を開催した。

② 小豆圏域ネットワーク会議

- ・ 参画法人 社会福祉法人イエス団、社会福祉法人サンシャイン会、社会福祉法人聖マルチンの家、社会福祉法人明和会、小豆島町介護保険施設（うちのみ）、小豆地区広域行政事務組合、社会福祉法人聖愛財団、社会福祉法人みくに園、社会福祉法人ひまわり福祉会、有限会社お元気ですかショップ山下、NPO法人三都の浜、医療法人一士会、社会福祉法人清見福祉会、NPO法人あすなろの家、一般社団法人小豆島 子ども・若者支援機構、社会福祉法人土庄町社会福祉協議会、社会福祉法人小豆島町社会福祉協議会
- ・ 日 時 令和4年12月14日、令和5年1月16日
- ・ 会 場 サンシャイン会等
- ・ 内 容 研修「コミュニケーションスキルアップセミナー」
講師 (株) ONDO 代表取締役 谷 益美 氏

(4) 小規模法人ネットワーク推進セミナーについて

複数の社会福祉法人等が連携して、地域共生社会の実現に向けた地域貢献事業や人材確保に取り組むことの意義やノウハウ等について学ぶことを目的に、下記のとおり推進セミナーを開催した。

- ・ 日 時 令和4年10月3日
- ・ 会 場 香川県社会福祉総合センター
- ・ 内 容 ①事業説明
説明者：香川県社会福祉協議会
②実践報告「社会福祉連携推進法人の実践」
講師：地域密着型総合ケアセンターきたおおじ 代表

社会福祉法人リガーレ暮らしの架け橋
理事長 山田 尋志 氏

- ・ 参加者 11人

(5) 事業の実施報告

① 実践報告会

新型コロナウイルスの感染症の影響により、また、前年度が2つのネットワークのみの実施であったことから、開催を見送った。

② 実施報告書

県内社会福祉法人、市町社会福祉協議会、各自治体の福祉担当課等、210か所に実績報告書を配布した。

2 新型コロナウイルス施設間応援事業

(1) 新型コロナウイルス施設間応援の調整業務

① 協力施設等の登録

- ・ 協力施設の登録数 (3月31日時点)

法人数 64 法人

施設数 134 施設

② 応援職員の派遣調整

令和5年1月16日付で、社会福祉法人永世会のショートステイセンターつながりから、同法人の施設で新型コロナウイルスのクラスターが発生したことに伴い、応援職員の派遣依頼があったため、下記のとおり派遣を行った。

派遣先施設	派遣期間	派遣職員 延べ人数
ショートステイセンターつながり	令和5年1月19日～1月30日	30人

(2) 新型コロナウイルス感染症対策に対する検討会の実施

応援派遣の体制や内容に関する事、派遣時の調整業務に関する事等について協議を行うため、香川県社会福祉法人経営者協議会、香川県老人福祉施設協議会、香川県介護老人保健施設協議会の三団体からの推薦者を構成員として検討会を開催した。

【第1回】

- ・ 日時 令和4年7月28日
- ・ 場所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 報告事項 令和3年度の実績報告、新型コロナ第6波の状況報告
- ・ 協議事項 今後のネットワークのあり方について
- ・ 出席者 構成員5人、県長寿社会対策課3人、高松市介護保険課1人、県社協3人

【第2回】

- ・ 日時 令和4年10月24日
- ・ 会場 香川県社会福祉総合センター

- ・ 報告事項 協力施設へのアンケート結果について、全国の新型コロナ感染発生時の対応等について
- ・ 協議事項 今後のネットワークのあり方について
- ・ 出席者 構成員 6 人、県長寿社会対策課 3 人、高松市長寿福祉課 1 人、県社協 3 人

3 民間社会福祉施設職員の研修事業に対して費用助成を行った。また、社会福祉法人・施設職員のスキルアップのための研修を実施した。

(1) 助成事業

3 団体に対し、366,828 円の助成を行った。

(2) 研修事業

① 社会福祉会計簿記講座

講師 菊池公認会計士事務所 所長 菊池 博俊 氏

公認会計士 井上 康之 氏 (人)

講座	開催日	会場	内容	参加者
入門	令和4年 7月25日	香川県社会福祉総合 センター	会計・税のルールの概要、 計算書類の概要等	21
3級	8月4日、8日		財務三表の理解等	14
2級	9月12日、13日		社会福法人の計算書類等	15
1級	10月4日、6日		資産の評価・減価償却等	5
経営管理	11月1日、2日		経営計画、財務分析等	11

② 中堅職員研修会

- ・ 開催方法 オンライン研修
- ・ 配信期間 令和5年1月26日
- ・ 参加者 23人
- ・ 内容 講義・演習

マネジメントの基本、業務改善スキルの向上を目指して、
後輩指導の学び等

講師 株式会社エイデル研究所

経営支援部 主任コンサルタント 中村 守孝 氏
人材育成支援部

チーフコーディネーター 増田 直哉 氏

4-2 福祉サービス運営適正化事業の推進

1 香川県運営適正化委員会の運営

(1) 運営適正化委員会本会議の開催

	開催日	場 所	出席委員数 (人)	議事内容
第1回	令和4年 5月31日	香川県社会福祉総合センター	11	・令和3年度事業報告 ・令和4年度事業計画(案)
第2回	8月30日	香川県社会福祉総合センター	10	・委員長等選任

(2) 運営監視合議体の開催

	開催日	場 所	出席委員数 (人)	議事内容
第1回	令和4年 10月4日	香川県社会福祉総合センター	6	・日常生活自立支援事業の実施状況報告 ・令和3年度日常生活自立支援事業の運営監視実施状況等 ・令和4年度日常生活自立支援事業の運営監視計画(案)
第2回	令和5年 3月14日	香川県社会福祉総合センター	8	・令和4年度日常生活自立支援事業の現地調査結果 ・市町社会福祉協議会に対する通知(案) ・県社会福祉協議会に対する提言等(案)

(3) 苦情解決合議体の開催

	開催日	場 所	出席委員数 (人)	議事内容
第1回	令和4年 7月5日	香川県社会福祉総合センター	5	・苦情申出案件の報告・協議
第2回	10月14日	香川県社会福祉総合センター	4	・苦情申出案件の報告・協議
第3回	令和5年 1月10日	香川県社会福祉総合センター	3	・苦情申出案件の報告・協議
第4回	3月28日	香川県社会福祉総合センター	4	・苦情申出案件の報告・協議

2 日常生活自立支援事業の運営監視

8市町社協を対象に現地調査を行い、その結果を合議体会議で審議の上、社協ごとに改善すべき点(「内部けん制やバックアップが機能する実施体制の構築」や「適正な支援計画評価の実施」等)を通知し、助言を行った。

また、同時に事業主体である県社協には、市町社協の行う事業の管理・監督を徹底するとともに、事業の円滑な遂行に必要な基本的な事項(実施体制整備、金品管理の原則、面接・記録のスキルアップ等)に係る研修や定期的な情報交換会の実施など、市町社協に対するきめ細かな支援を継続することで適正な運営が図られるよう、提言等を行った。

3 苦情解決事業実施状況

電話・メール等による82件の苦情相談等に対応した。

(1) 苦情等相談受付件数（月別、受付方法別）

	受付方法								備考
	電話		メール		その他(来所・手紙)		計		
	苦情	その他 相談	苦情	その他 相談	苦情	その他 相談	苦情	その他 相談	
4月	2	1	1				3	1	
5月	4						4		
6月	7	1			1		8	1	
7月	7						7		
8月	5	1	1			1	6	2	
9月	8						8		
10月	7						7		
11月	5	1					5	1	
12月	8	1	1				9	1	
1月	5				1		6		
2月	4	2					4	2	
3月	5		2				7		
合計	67	7	5		2	1	74	8	

(2) 苦情申出人別受付状況

	利用者		家族		代理人		職員		その他		計	
	苦情	その他 相談	苦情	その他 相談	苦情	その他 相談	苦情	その他 相談	苦情	その他 相談	苦情	その他 相談
高齢者	4		13				1	1	3	1	21	2
障害者	10		6				1		5		22	
児童			4				1				5	
その他	25	6	1								26	6
合計	39	6	24				3	1	8	1	74	8

(3) 苦情の解決方法別状況

区分	苦情解決結果									
	① 当事者間での 解決の推奨	② 相談・助言	③ 他機関の紹介	④ あつせん	⑤ 行政への通知	⑥ 事業所への 伝達・助言	⑦ その他	⑧ 継続中	合計	
高齢者	①サービス内容（職員の接遇）	2				1			3	
	②サービス内容（サービスの質や量）	5	5			3			13	
	③利用料		1						1	
	④説明・情報提供	1	1						2	
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害	1				1			2	
	⑦その他									
障害者	①サービス内容（職員の接遇）		4			3			7	
	②サービス内容（サービスの質や量）		7			2			9	
	③利用料									
	④説明・情報提供		1			1			2	
	⑤被害・損害	1							1	
	⑥権利侵害					1			1	
	⑦その他	1	1						2	
児童	①サービス内容（職員の接遇）									
	②サービス内容（サービスの質や量）	2	2						4	
	③利用料									
	④説明・情報提供									
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害									
	⑦その他			1					1	
その他	①サービス内容（職員の接遇）	20				3			23	
	②サービス内容（サービスの質や量）									
	③利用料									
	④説明・情報提供									
	⑤被害・損害									
	⑥権利侵害									
	⑦その他	1	2						3	
合計	①サービス内容（職員の接遇）	22	4			7			33	
	②サービス内容（サービスの質や量）	7	14			5			26	
	③利用料		1						1	
	④説明・情報提供	1	2			1			4	
	⑤被害・損害	1							1	
	⑥権利侵害	1				2			3	
	⑦その他	2	4						6	
	合計	34	25			15			74	

- ・ 開催日 令和4年6月9日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 出席者 13人
 - ・ 提出議案
 - 第1号議案 令和3年度事業報告の承認について
 - 第2号議案 令和3年度収支決算の承認について
 - 第3号議案 理事候補者の選定について
 - 第4号議案 定時評議員会の招集について
 - ・ 報告事項
 - 第69回香川県社会福祉大会の開催（案）について
 - 令和4年度県社協組織体制について
- ② 第2回理事会
- ・ 令和4年11月14日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 出席者 14人
 - ・ 報告事項
 - 会長及び常務理事の職務執行状況について
 - 香川県社会福祉協議会第3次強化発展計画の策定について
- ③ 第3回理事会
- ・ 開催日 令和5年3月20日
 - ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
 - ・ 出席者 14人
 - ・ 提出議案
 - 第1号議案 経理規程の一部改正について
 - 第2号議案 令和4年度補正予算（案）について
 - 第3号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
 - 第4号議案 役員報酬等の総額について
 - 第5号議案 職員給与等支給規程の一部改正について
 - 第6号議案 職員再雇用に関する規程の一部改正について
 - 第7号議案 基本財産の管理運用について
 - 第8号議案 役員等賠償責任保険契約について
 - 第9号議案 令和5年度事業計画（案）について
 - 第10号議案 令和5年度予算（案）について
 - 第11号議案 評議員候補者の選定について
 - 第12号議案 福祉サービス苦情解決における第三者委員の選任について
 - 第13号議案 事務局長の選任について
 - 第14号議案 令和4年度第2回評議員会の招集について
 - ・ 報告事項
 - 会長及び常務理事の職務執行状況について
 - 香川県社会福祉協議会第3次強化発展計画の策定について

組織体制の再編について

(2) 監事会の開催

- ・ 開催日 令和4年5月25日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 監事2人
- ・ 監査事項 令和3年度事業実施状況
令和3年度収支決算状況

(3) 評議員会の開催

① 第1回評議員会（定時評議員会）

- ・ 開催日 令和4年6月27日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 14人
- ・ 提出議案
 - 第1号議案 令和3年度事業報告の承認について
 - 第2号議案 令和3年度収支決算の承認について
 - 第3号議案 理事の選任について

② 第2回評議員会

- ・ 開催日 令和5年3月29日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 14人
- ・ 提出議案
 - 第1号議案 令和4年度補正予算（案）について
 - 第2号議案 役員及び評議員の報酬等に関する規程の一部改正について
 - 第3号議案 役員報酬等の総額について
 - 第4号議案 基本財産の管理運用について
 - 第5号議案 令和5年度事業計画（案）について
 - 第6号議案 令和5年度予算（案）について

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

- ・ 開催日 令和5年3月24日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 出席者 委員4人
- ・ 議 事 第1号議案 評議員の選任について

5-2 職員の人材育成と組織体制の強化

1 県社協職員の人材育成

(1) 資格取得の促進及び研修の参加

① 社会福祉士及び精神保健福祉士通信課程の受講促進

- ・ 令和3年度末資格取得職員（総合職）
社会福祉士 19人中 16人

精神保健福祉士 19人中 4人

② 職員研修計画に基づいた研修の実施

職員研修計画に基づき、職場内研修を実施するとともに、職場外研修として専門研修を受講した。

(2) 人事考課制度の実施

人事考課表及び実績考課シートによる人事考課制度を実施し、令和4年度6月期及び12月期の勤勉手当に反映した。

(3) 職員個別面接の実施

全職員を対象にした、常務理事による職員個別面談を実施した。

2 事務局体制の整備

(1) 地区担当制の実施

地域福祉課で職員の地区担当制を実施し、ネットワーク会議等に参加した。

(2) 課題別プロジェクトの実施

① 社会福祉連携協働セミナープロジェクト

・社会福祉連携協働セミナーの開催

内容については、「1-2の2香川おもいやりネットワーク事業の推進(7)事業全体の運営」で記載のとおり。

② 市町社協へのコンサルテーションプロジェクト

経営に課題を感じている市町社協への県社協職員によるコンサルテーションを行うことを目的に、社協経営やコンサルテーションの視点について協議した。

○第1回

開催日 令和4年11月2日

内 容 社会福祉法人会計の基礎についての勉強会

講師 琴平町社会福祉協議会 事務局長 近藤 武嗣 氏

○第2回

開催日 令和4年11月18日

内 容 市町社協支援(コンサル)における検討枠組み(大橋 謙策氏作成)を基に、コンサルテーションにおける県社協の機能・役割について協議した。

○第3回

開催日 令和4年12月20日

内 容 職員で作成したコンサルテーションのポイント案について検討した。

③ 特例貸付の今後の対応検討プロジェクト

○第1回 令和4年10月3日

- ・特例貸付を貸付世帯を含めた困窮世帯への支援ツール・プログラムを検討
- ・特例貸付の貸付時・貸付後の課題整理
- ・生活困窮者自立支援事業の課題整理

○第2回 令和4年10月20日

- ・市町社協の生活福祉資金、生活困窮者自立支援事業の各担当者向けのアンケート

ートを実施し、その結果を共有した。

- ・償還猶予制度及び借受人へのフォローアップ支援に関する事務連絡が出されたことにより、両事業間での立場を明確にしながら、どのように連携を行っていくかの協議を行った。

(3) 組織体制の再編

令和5年度からの組織体制の再編を下記のとおり行った。

- ・令和4年度(現行)
法人振興・総務部 総務企画課、法人振興課、福祉人材センター
地域福祉部 地域福祉課、福祉資金室
- ・令和5年度(再編後)
総務人材部 総務企画課、福祉人材センター
地域福祉部 地域福祉課、法人振興課
福祉資金課

3 県社協第3次強化発展計画の策定

社会福祉を取り巻く現状を踏まえ、県社協が置かれている現状や課題を分析し、今後の目指すべき県社協の姿や5年間の地域福祉推進のための具体的な活動・行動計画を示すため、「香川県社会福祉協議会第3次強化発展計画」の策定に取り組んだ。

策定にあたり、検討委員会を立ち上げ、令和4年度に2回委員会を開催した。

(1) 計画策定に係る職員会議の開催

- 全職員による会議 年間3回
- 主任以上による会議 年間6回

(2) 第3次強化発展計画検討委員会の開催

回数	期日	主な内容(協議事項)
第1回	令和4年 12月27日	第2次強化発展計画の評価について 第3次強化発展計画の骨子案について
第2回	令和5年 3月2日	第3次強化発展計画(案)について

5-3 広報機能の充実・強化

1 福祉香川の発行

本会の機関紙として「福祉香川」を、年1回、各5,500部発行し、本会賛助会員、民生委員・児童委員、社会福祉施設・団体、市町社会福祉協議会、関係行政機関等に配付した。

2 香川県社会福祉協議会ホームページでの情報提供

平成13年3月1日から開設した県社協ホームページにおいて、本会事業の紹介をはじめ、社会福祉施設・社協の名簿、各種行事・助成の案内等、ボランティア募集、

社会福祉に関する情報等に関する情報等を掲載した。

県社協ホームページアドレス <https://www.kagawaken-shakyo.or.jp>

3 福祉情報コーナー整備、貸出し

DVD、福祉教材(高齢者疑似体験セット等)を各種研修会等に貸出しを行った。

4年度中の利用件数は、福祉教材 24 件 449 セットであった。

4 各種助成事業への協力

各種助成事業の広報及び取りまとめ等の協力を行った。

5 香川県社会福祉大会の開催

第 69 回香川県社会福祉大会を次のとおり開催した。

- ・ 開催日 令和 4 年 10 月 27 日
- ・ 場 所 レクザムホール 小ホール
- ・ 参加者 受賞者 171 人及び関係者
- ・ 記念講演 「認知症が私たち家族にくれたギフト」
講師 映画監督 信友 直子 氏
- ・ 表 彰 ○ 香川県知事 表彰 75 個人
○ 香川県社会福祉協議会会長 表彰 216 個人・3 団体
感謝 1 個人・2 団体
○ 香川県共同募金会会長 表彰 27 個人・2 団体

6 社会福祉関係ポスターの配付

老人の日・老人福祉週間ポスターを市町社会福祉協議会等に配付し、その趣旨の普及に努めた。

また、児童福祉月間や各種社会福祉運動の趣旨の普及にも努めた。

7 共同募金運動への協力

10 月 1 日に実施された共同募金運動展開行事に参加すると同時に、機関紙「福祉香川」等を通じて、共同募金運動の趣旨の普及と協力の呼びかけを行った。

8 ソーシャルワーカーデーイン香川 2022 の共催

2009 年に「海の日」を、わが国のソーシャルワーカーデーと定められたことを受け、香川県内においても、地域を基盤とするソーシャルワーク実践に関わる専門職の各団体の緩やかなネットワークをつくり、情報交換及び研究協議の場として、県内福祉関係団体とソーシャルワーカーデーイン香川 2022 を開催した。

- ・ 主催 ソーシャルワーカーデー i n 香川 2022 実行委員会

実行委員会構成団体

公益社団法人香川県社会福祉士会、一般社団法人香川県介護福祉士会、
香川県精神保健福祉士協会、香川県医療ソーシャルワーカー協会、

香川スクールソーシャルワーカー協会、香川県ソーシャルワーカー協会、
社会福祉法人香川県社会福祉協議会

- ・ 開催日 令和4年10月30日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 開催方法 ハイブリッド方式
- ・ 内 容

○講演「当事者視点から考える子どもや女性の権利

ー今、求められるソーシャルワーク機能ー

講師 四国学院大学社会福祉学部 教授 浜田 知美 氏

○シンポジウム

「今、求められるソーシャルワーク機能と、その実践について考える」

[シンポジスト]

特定非営利活動法人レスパストラボ 理事長 辰巳 裕子 氏

四国こどもとおとなの医療センター 地域医療連携室 福田 育美 氏

高松市社会福祉協議会 地域福祉企画・連携室 阿部 陽子 氏

[コーディネーター]

四国学院大学社会福祉学部 准教授 北川 裕美子 氏

[助言]

四国学院大学社会福祉学部 教授 浜田 知美 氏

9 教員免許特例法による「介護等体験」事業の充実強化

教員免許の取得を希望する学生に義務づけられている「介護等体験」を香川県内の社会福祉施設等で実施する際に受入調整を行った。本年度の実施社会福祉施設等は、12施設、参加学生は3大学の21人であった。

なお、令和2年度から令和5年度は介護等体験を予定していたにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の影響により、介護等体験が困難となった学生等のために国が代替措置を実施しており、適用された者は施設での介護等体験が免除されることとなっている。

今年度は申込みのあった大学のうち6大学で代替措置を実施した。

(1) 参加大学・短期大学

	大 学		短 期 大 学		合 計	
	大学数	参加学生数	短期大学数	参加学生数	大学・ 短期大学数	参加学生数
		(人)		(人)		(人)
県内	1	19	0	0	1	19
県外	2	2	0	0	2	2
合計	3	21	0	0	3	21

(2) 実施社会福祉施設等

種 別 名	施設数	参加学生数	種 別 名	施設数	参加学生数
		(人)			(人)
指定障害福祉サービス事業所	3	3	児童養護施設	0	0
障害者支援施設	1	1	知的障害児施設	0	0
養護老人ホーム	1	1	救護	0	0
特別養護老人ホーム	5	10	デイ	0	0
介護老人保健施設	2	6			
合 計				12	21

10 県内社会福祉施設・団体の各種研修会・研究協議会に共催・後援等を行った。

また、本会で事務局を担当している一般財団法人香川県民間社会福祉施設振興財団、香川県ソーシャルワーカー協会、香川県民生委員児童委員協議会連合会、香川コミュニティソーシャルワーク実践研究会、特定非営利活動法人後見ネットかがわ、特定非営利活動法人フードバンク香川の事業の運営、業務の推進に協力した。

全国・四国ブロック会議・研修会等の開催・参加

1 会議等の開催・協力（主催・共催県）

(1) 四国ブロック県社協常務理事・事務局長会議（主催）

- ・ 開催日 令和4年8月9日
- ・ 場 所 香川県社会福祉総合センター
- ・ 参加者 17人
- ・ 内 容
 - 基調報告 全国社会福祉協議会 事務局長 松島 紀由 氏
 - 各県提出議題による協議

(2) 四国ブロック県社協事務局次長・総務担当者会議（主催）

- ・ 開催日 令和4年8月24日
- ・ 開催方法 オンライン
- ・ 参加者 18人
- ・ 内 容 各県協議題に基づき研究協議

2 会議等への参加

次の各種研修会、研究協議会等に参加した。

開 催 日	場 所 (開催方法)	会 議 の 名 称	担当課・室・ センター
令和4年 4月21日	オンライン	緊急小口資金等特例貸付に関する常務理事・事務局長会議	福祉資金室
6月1日	東京都	全国社会福祉協議会政策委員会テーマ別検討会	福祉資金室

開催日	場所 (開催方法)	会議の名称	担当課・室・ センター
6月3日	東京都	都道府県社会福祉協議会生活福祉資金担当部・ 課・所長会議	福祉資金室
6月14日	オンライン	福祉人材センター業務・法令研修	福祉人材セ ンター
7月7日～8日	東京都	全国生活福祉資金貸付事業担当職員研修会	福祉資金室
7月14日	兵庫県	全国社会福祉協議会政策委員会テーマ別検討会	福祉資金室
7月15日	オンライン	生活福祉資金業務システム市区町村社協連携シ ステムの機能説明会	福祉資金室
7月20日	東京都	全国社会福祉協議会政策委員会テーマ別検討会	福祉資金室
8月5日	オンライン	緊急小口資金等特例貸付に関する常務理事・事 務局長会議	福祉資金室
9月7日	オンライン	緊急小口資金等特例貸付に関する緊急会議	福祉資金室
9月16日	オンライン	緊急小口資金等特例貸付に関する常務理事・事 務局長会議	福祉資金室
9月21日	東京都	都道府県社会福祉協議会生活福祉資金担当部・ 課・所長会議	福祉資金室
9月22日	オンライン	福祉人材センター全国連絡会議	福祉人材セ ンター
10月3日	オンライン	四国ブロック県社協事務局長・資金担当部課長 等連絡会	福祉資金室
10月24日	東京都	社協の災害支援体制と災害支援活動の強化に関 する会議	地域福祉課 法人振興課
11月4日	オンライン	四国ブロック福祉人材センター研究協議会・マ ッチング機能強化研修会	福祉人材セ ンター
11月9日	オンライン	都道府県社会福祉協議会生活福祉資金担当部・ 課・所長会議	福祉資金室
11月16日	オンライン	都道府県社会福祉協議会生活福祉資金担当部・ 課・所長会議	福祉資金室
11月29日	オンライン	償還免除及び償還猶予の取り扱いに関する担当 者会	福祉資金室
12月7日	鳥取県	中国・四国ブロック運営適正化委員会事務局長 会議	運営適正化 委員会
令和5年 1月11日～13日	神奈川県	都道府県・指定都市社会福祉協議会新任職員研 修会	総務企画課
1月20日	オンライン	保育士・保育所支援センター等実施福祉人材セ ンター連絡会議	福祉人材セ ンター

開催日	場所 (開催方法)	会議の名称	担当課・室・ センター
1月24日	広島県	災害福祉支援ネットワーク中央センターブロッ ク(圏域)会議	法人振興課
1月27日	東京都	都道府県・指定都市社会福祉協議会常務理事・ 事務局長会議	総務企画課
2月13日	東京都	地域福祉推進委員会第3回正副委員長会議	地域福祉課
3月9日	東京都	全社協第3回理事会	総務企画課
3月14日～15日	東京都	全国生活福祉資金貸付事業運営研究協議会	福祉資金室
3月15日	東京都	新たな貸付事業担当職員連絡会議	福祉資室・ 福祉人材セ ンター
3月17日	東京都	地域福祉推進委員会第5回企画小委員会	地域福祉課